

症例2

患者情報

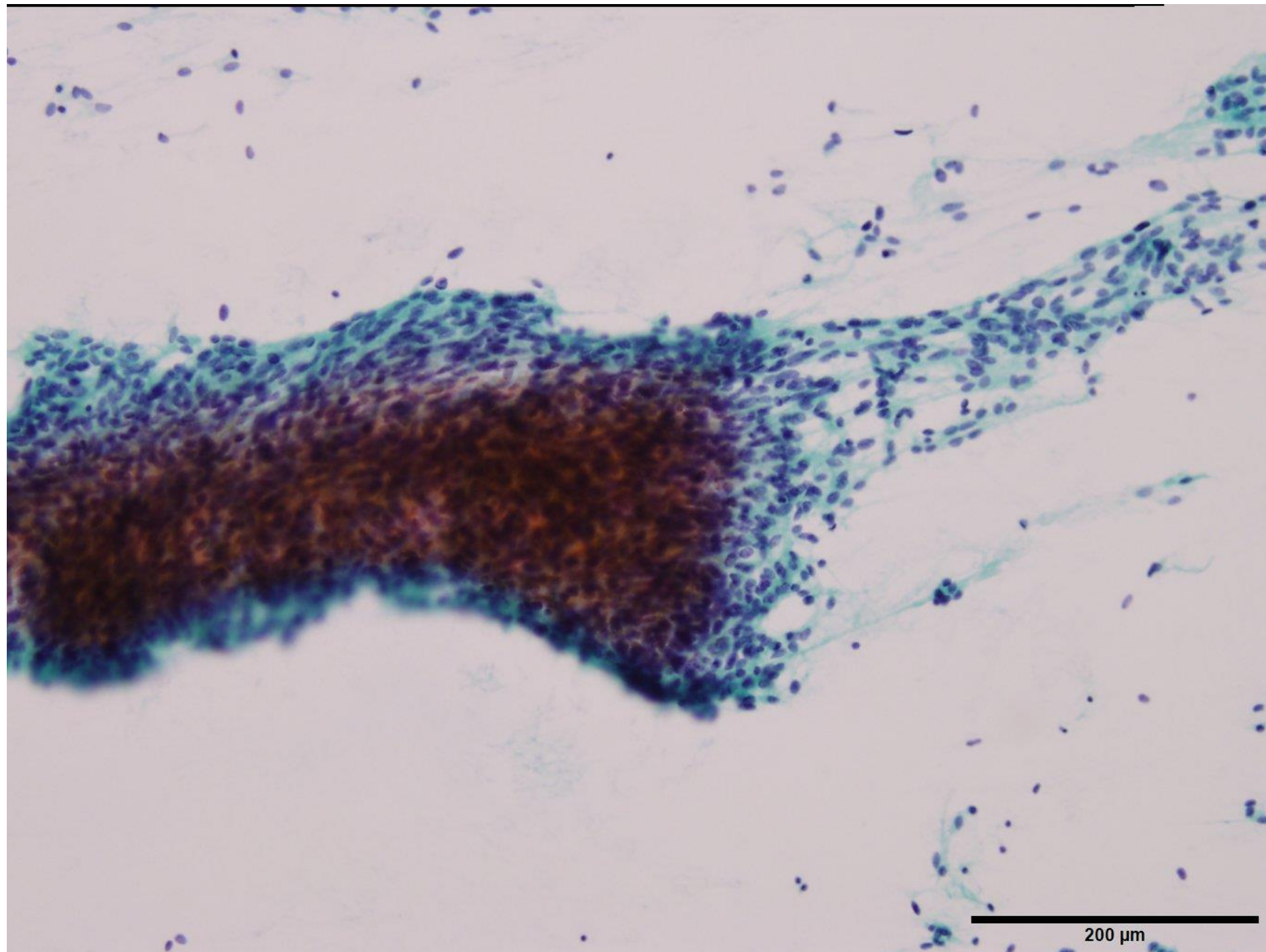
70代 女性

子宮筋腫にて経過観察中、不正性器出血あり受診

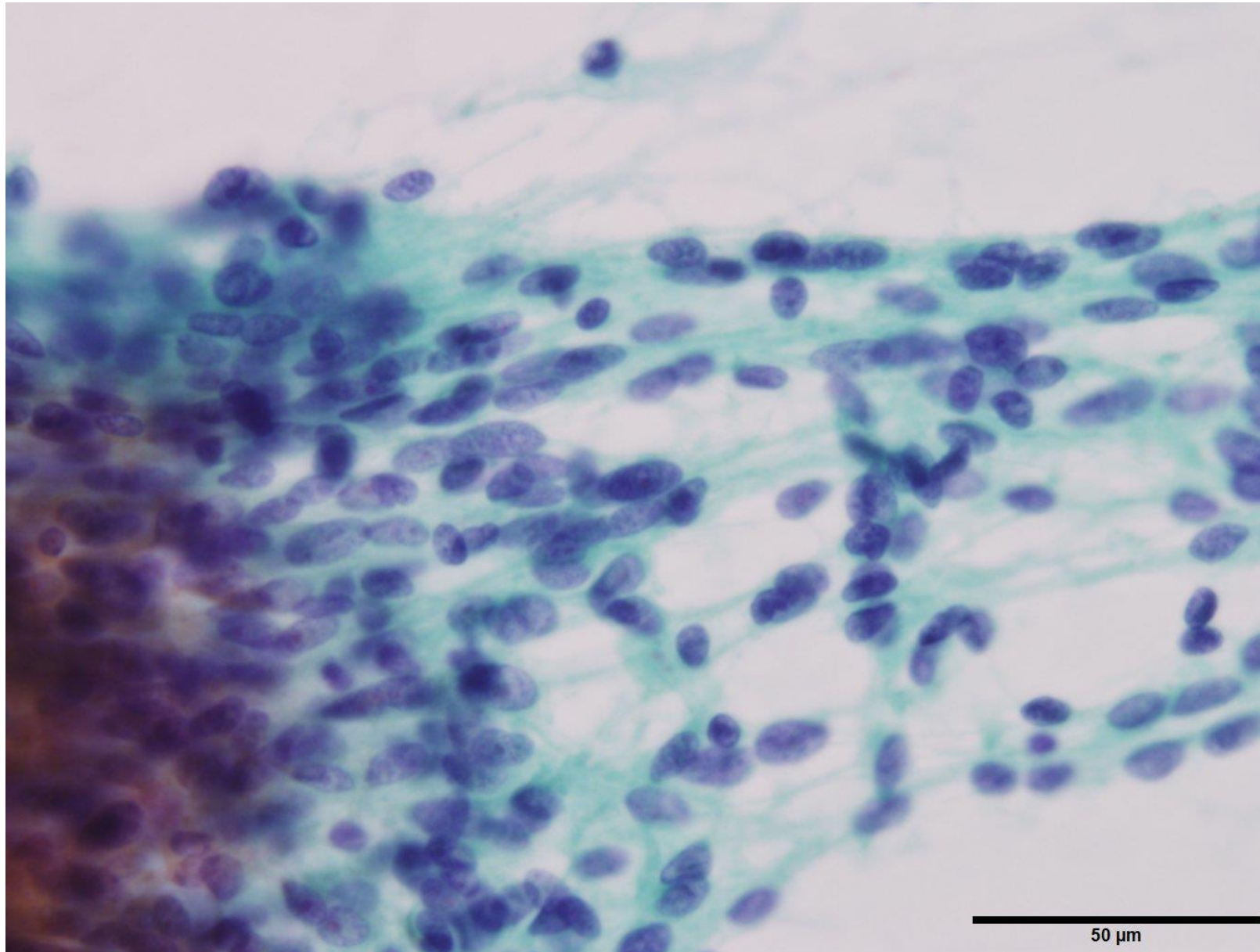
視診にて前膣円蓋に腫瘤あり

同部位から擦過細胞診と生検が実施された。

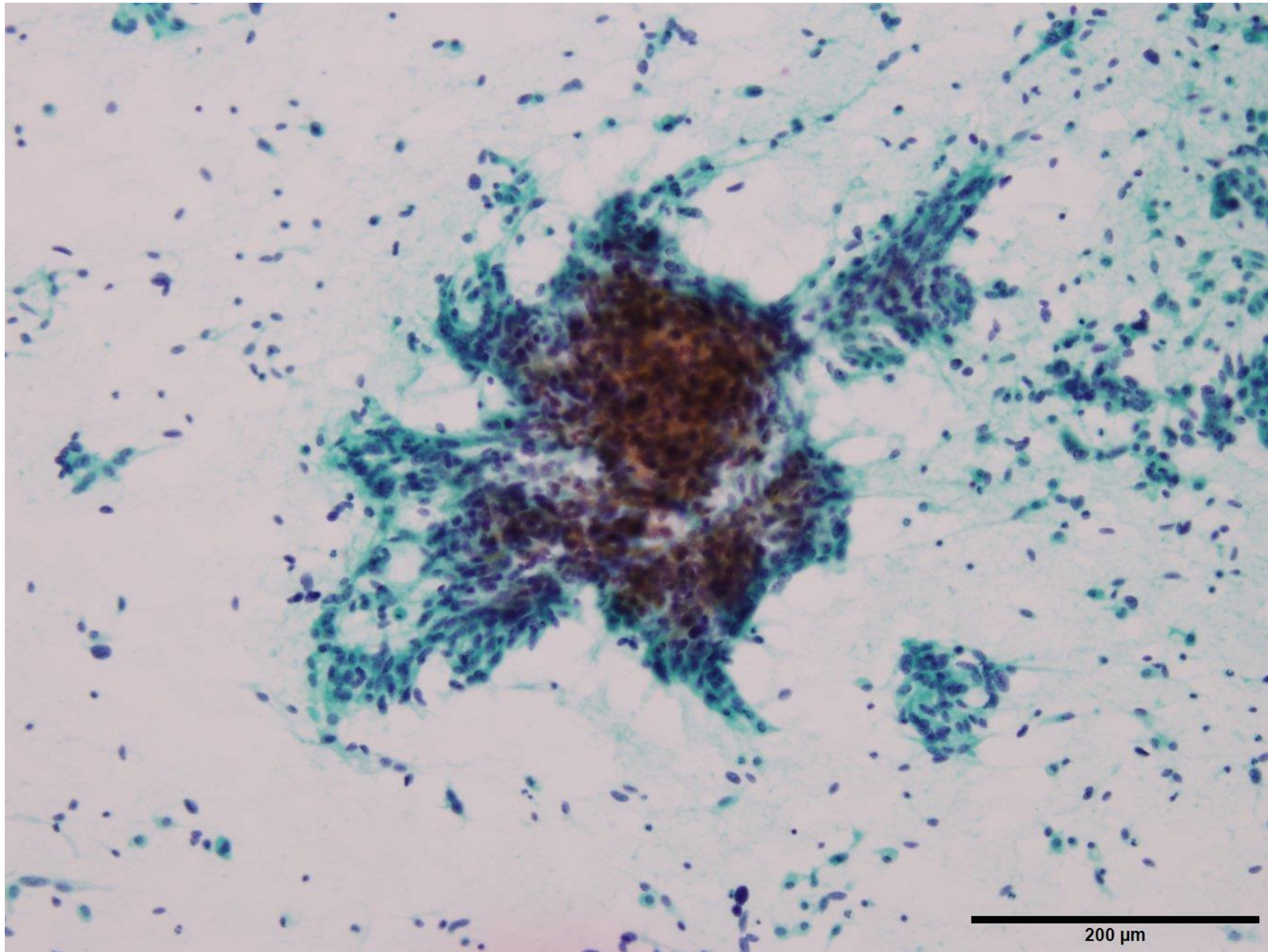




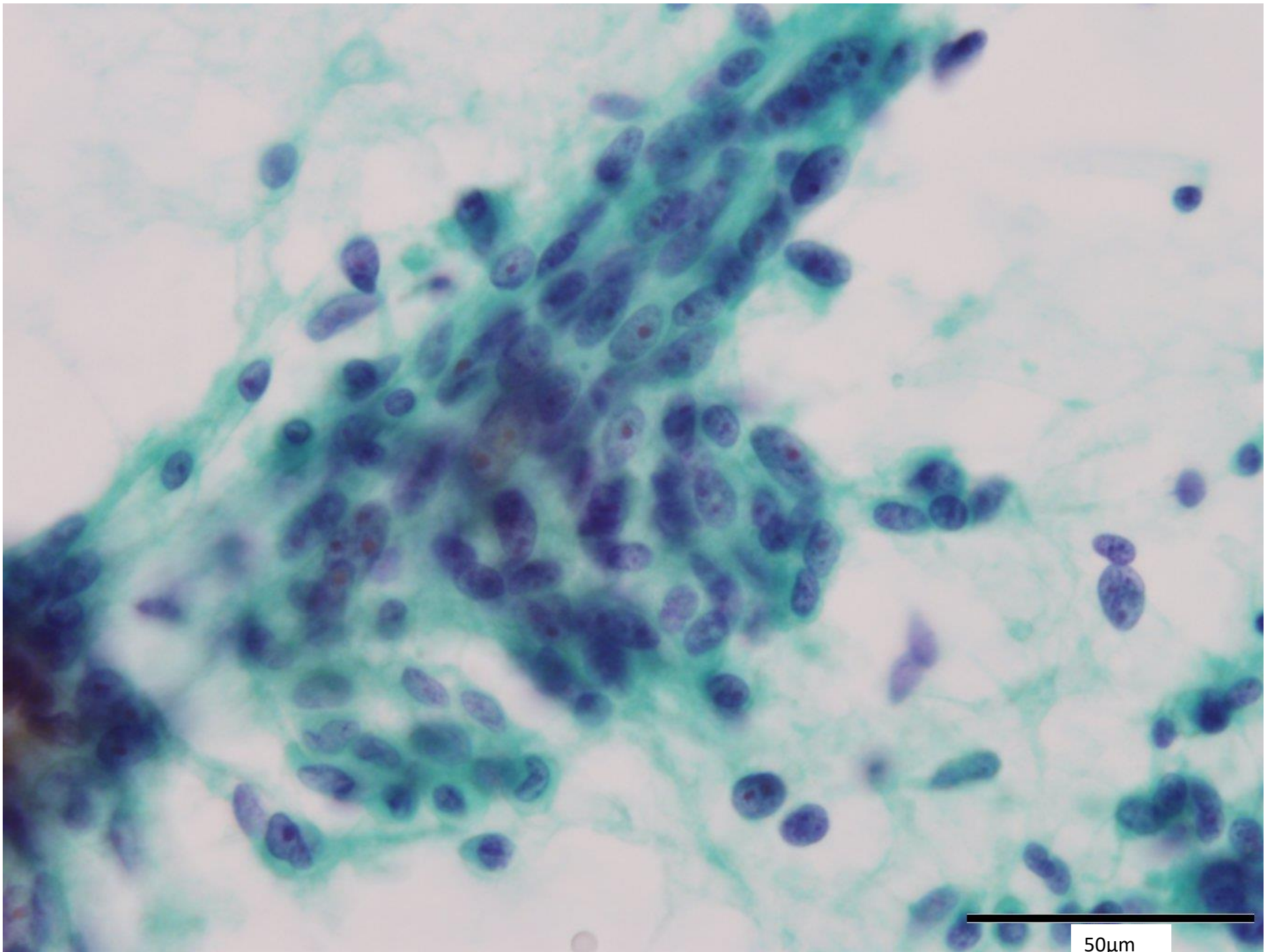
× 10



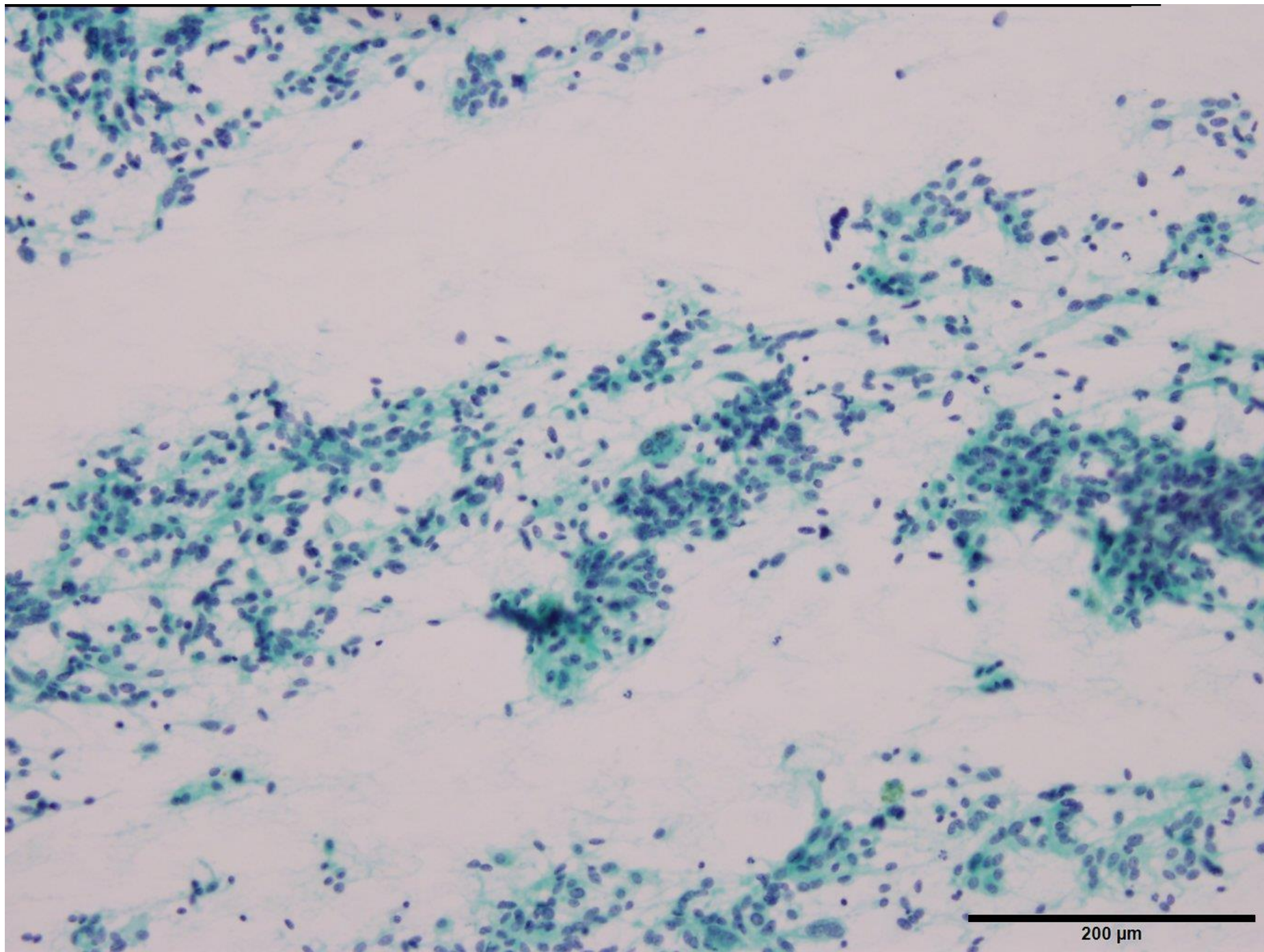
× 40



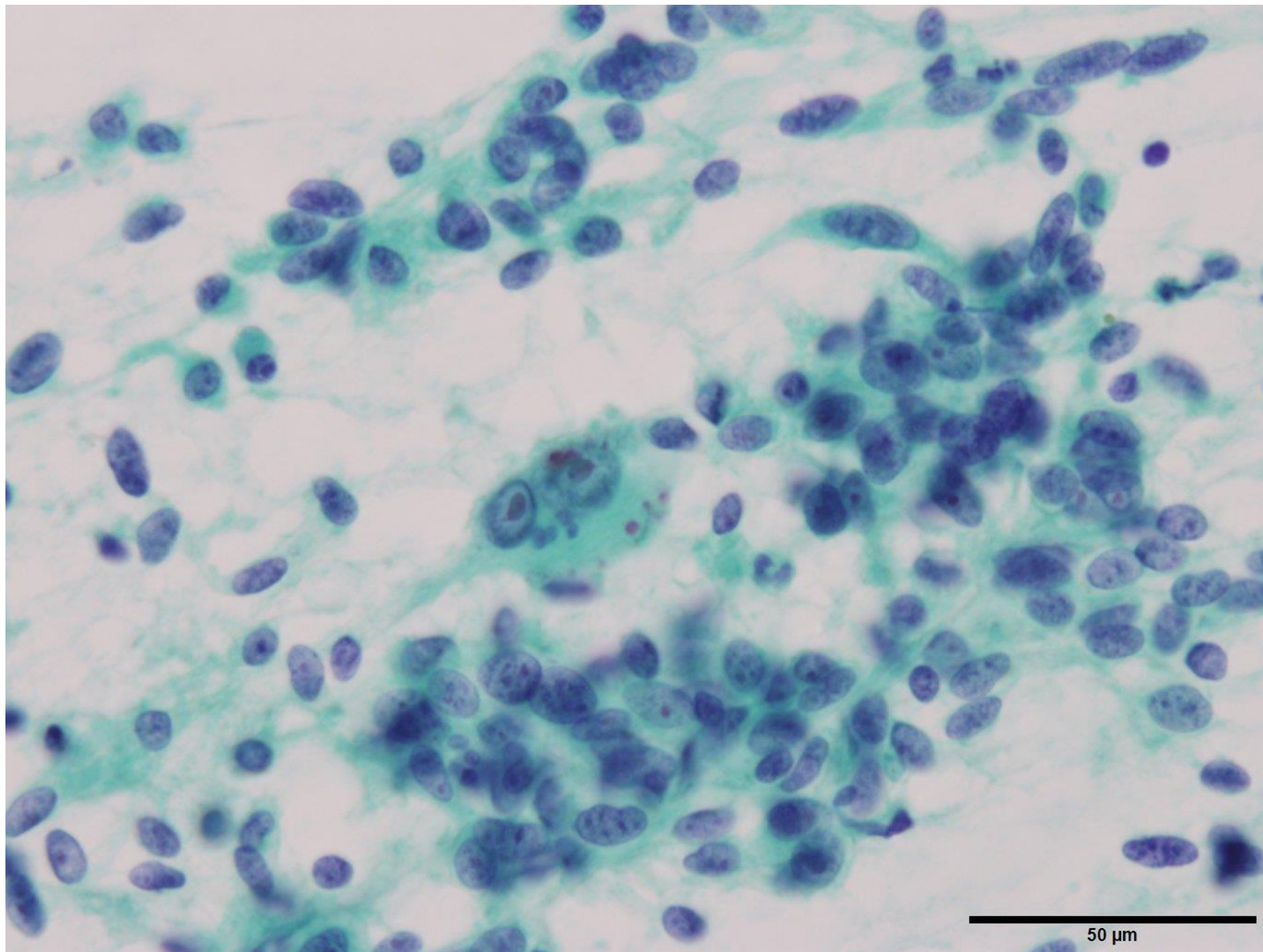
× 10



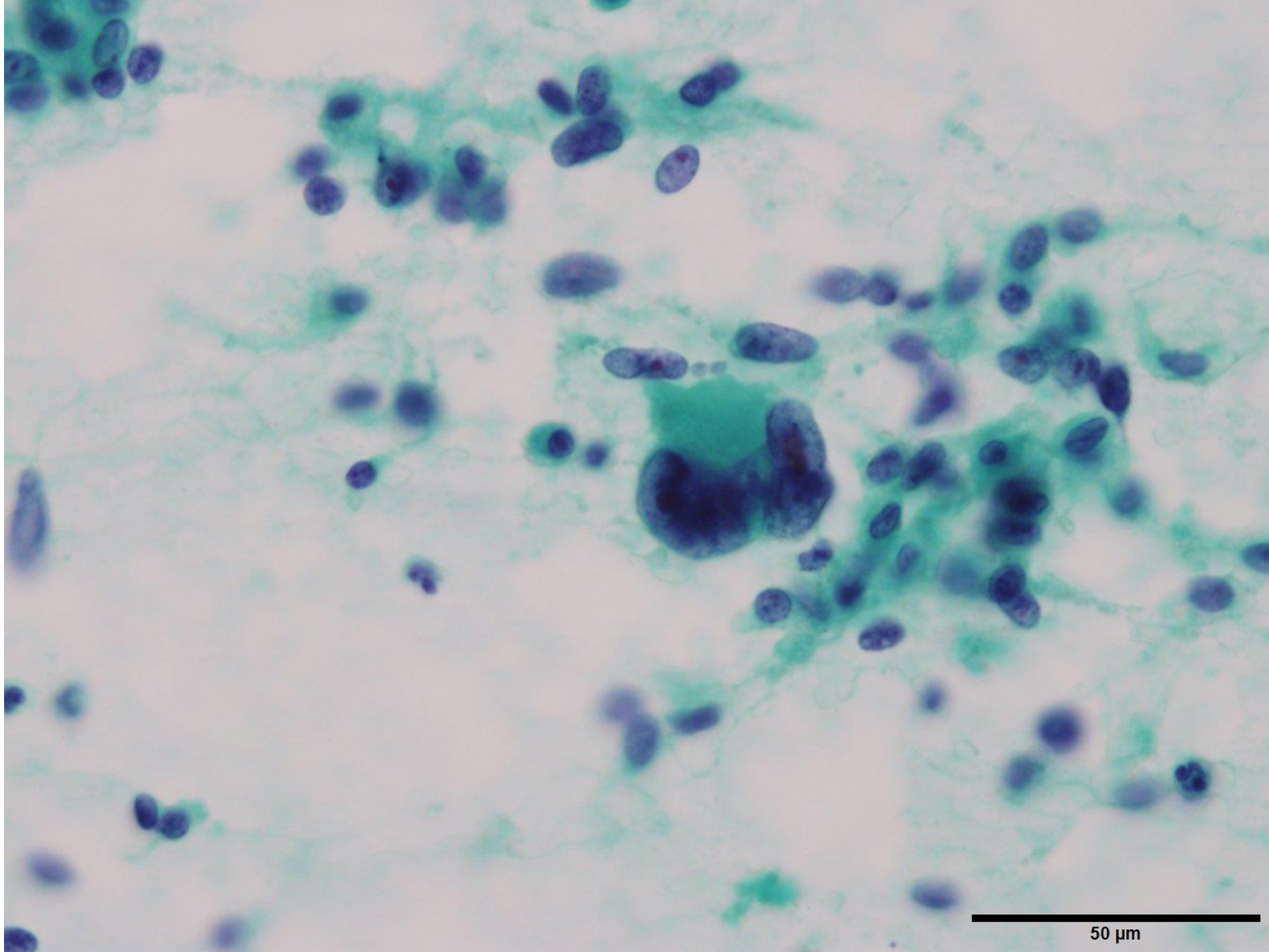
× 40



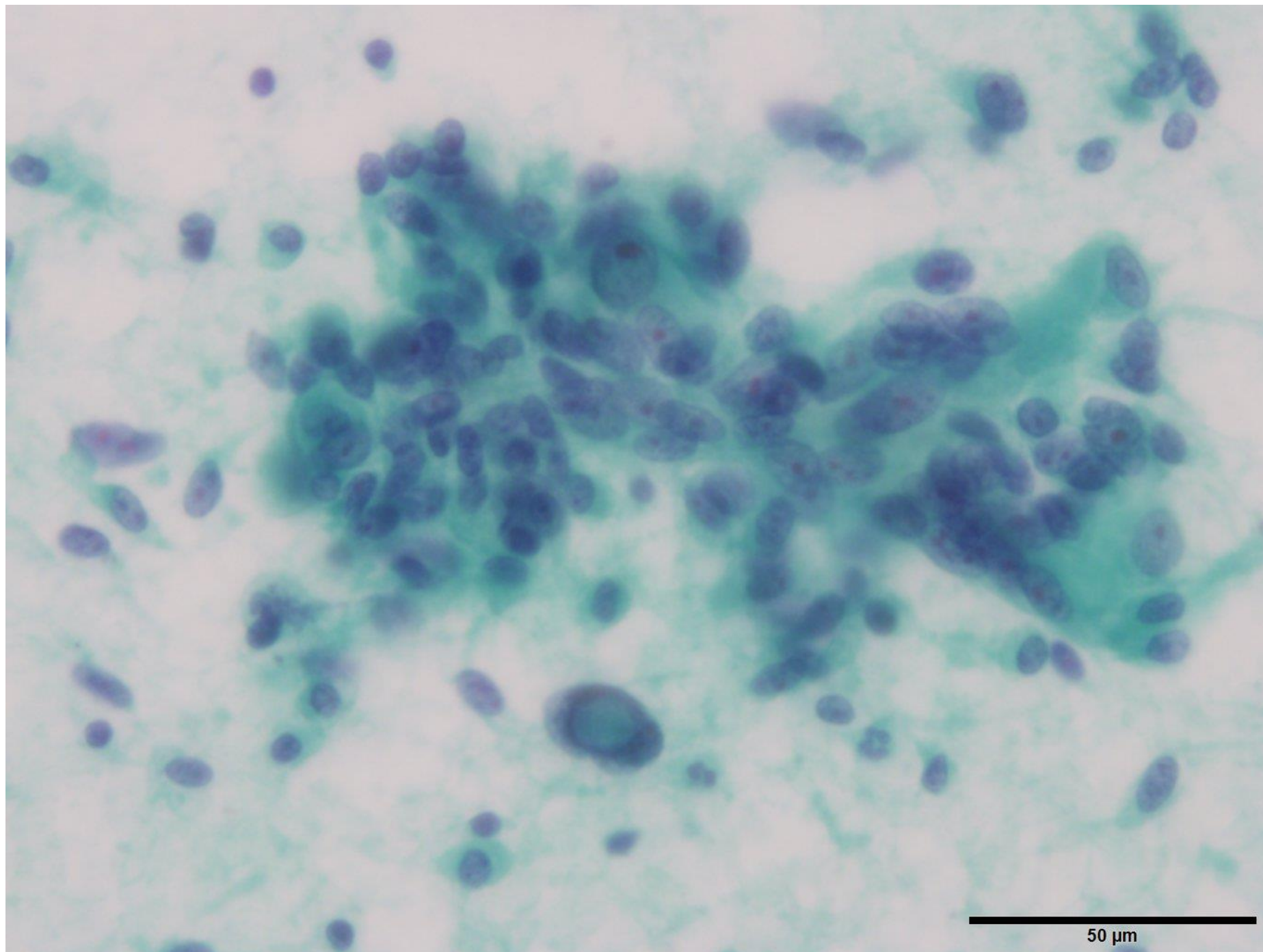
× 10



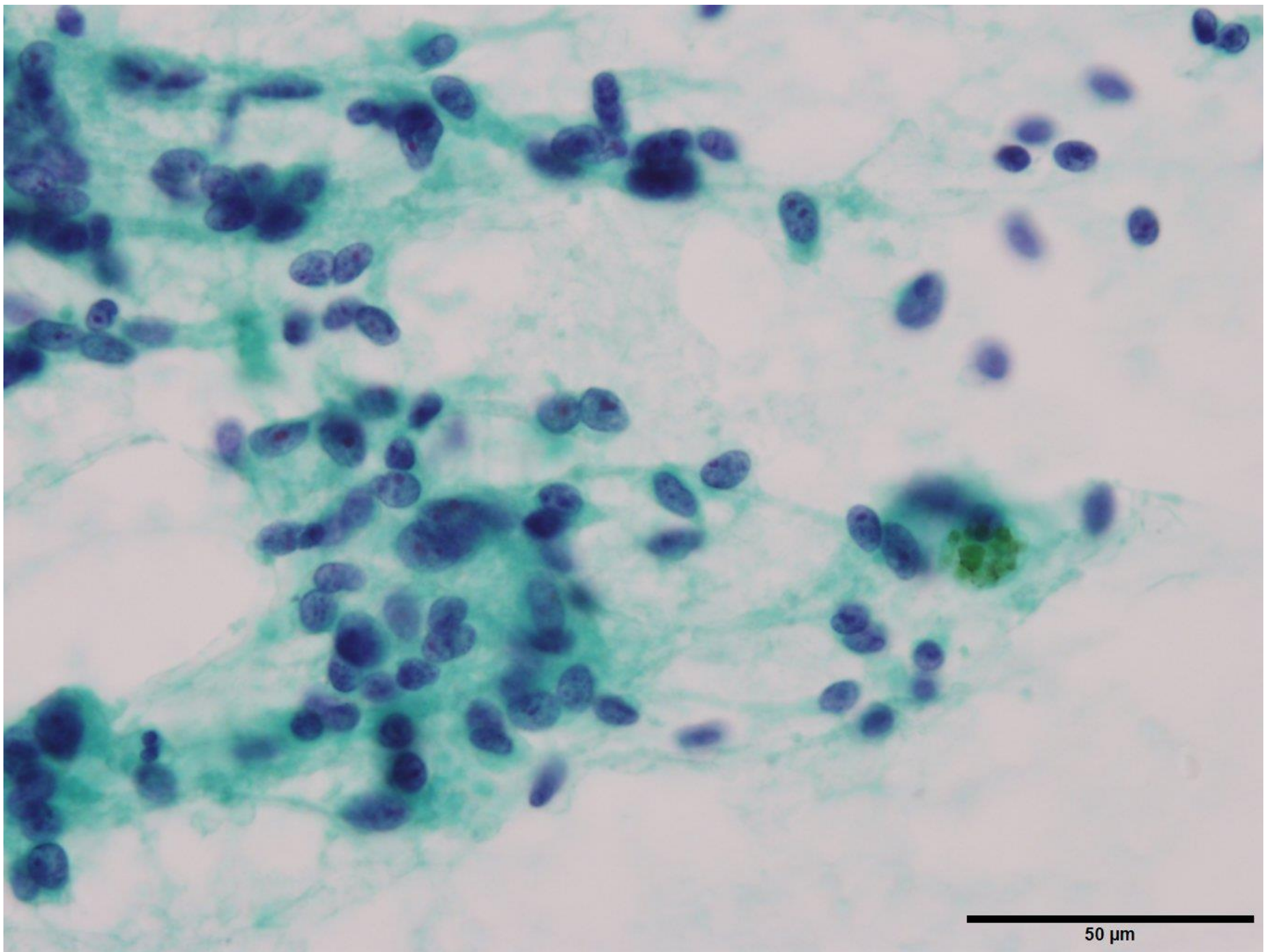
× 40



× 40



× 40



× 40

選択肢

- 1 神経内分泌癌
- 2 平滑筋肉腫
- 3 悪性黒色腫
- 4 子宮頸部腺癌(腔浸潤)
- 5 類内膜癌(腔浸潤)
- 6 扁平上皮癌

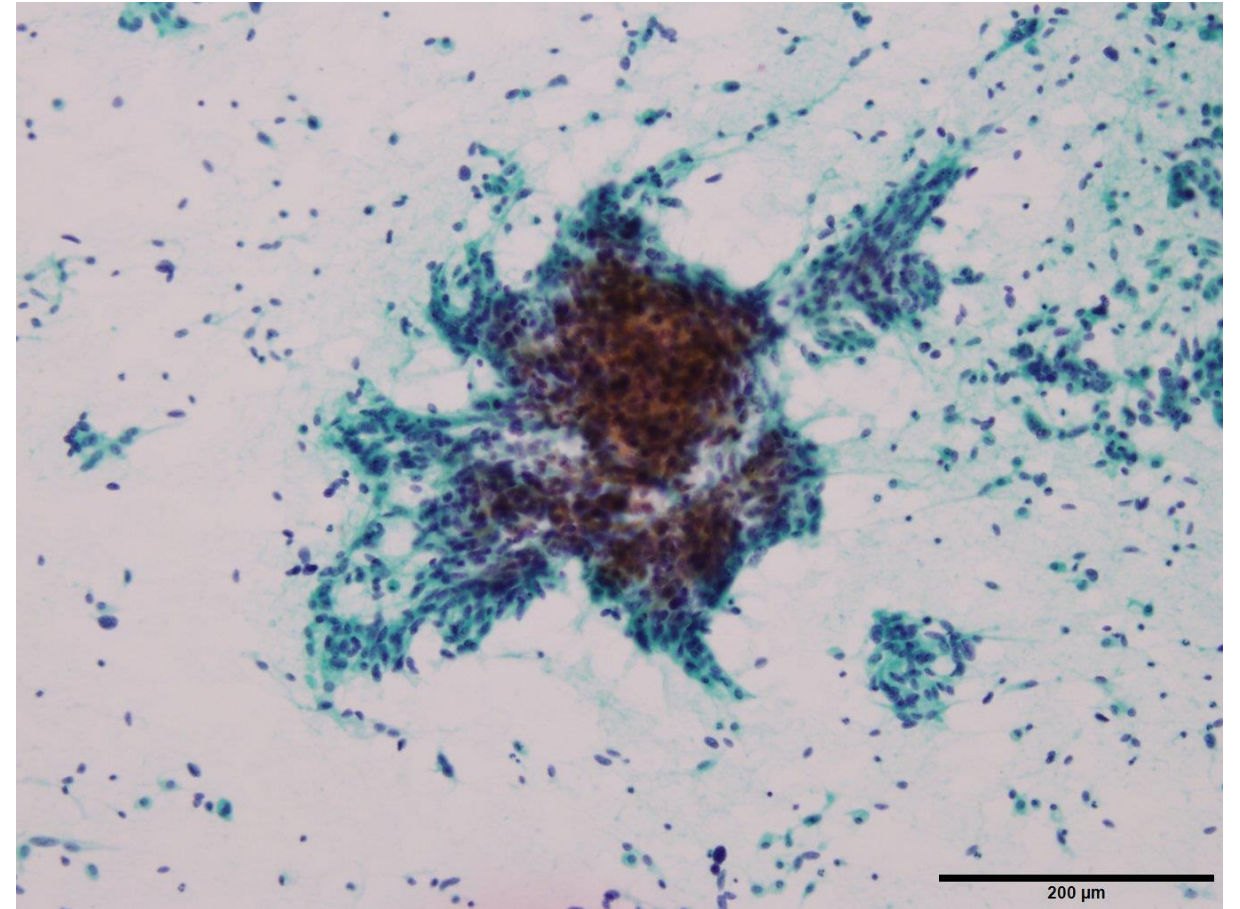
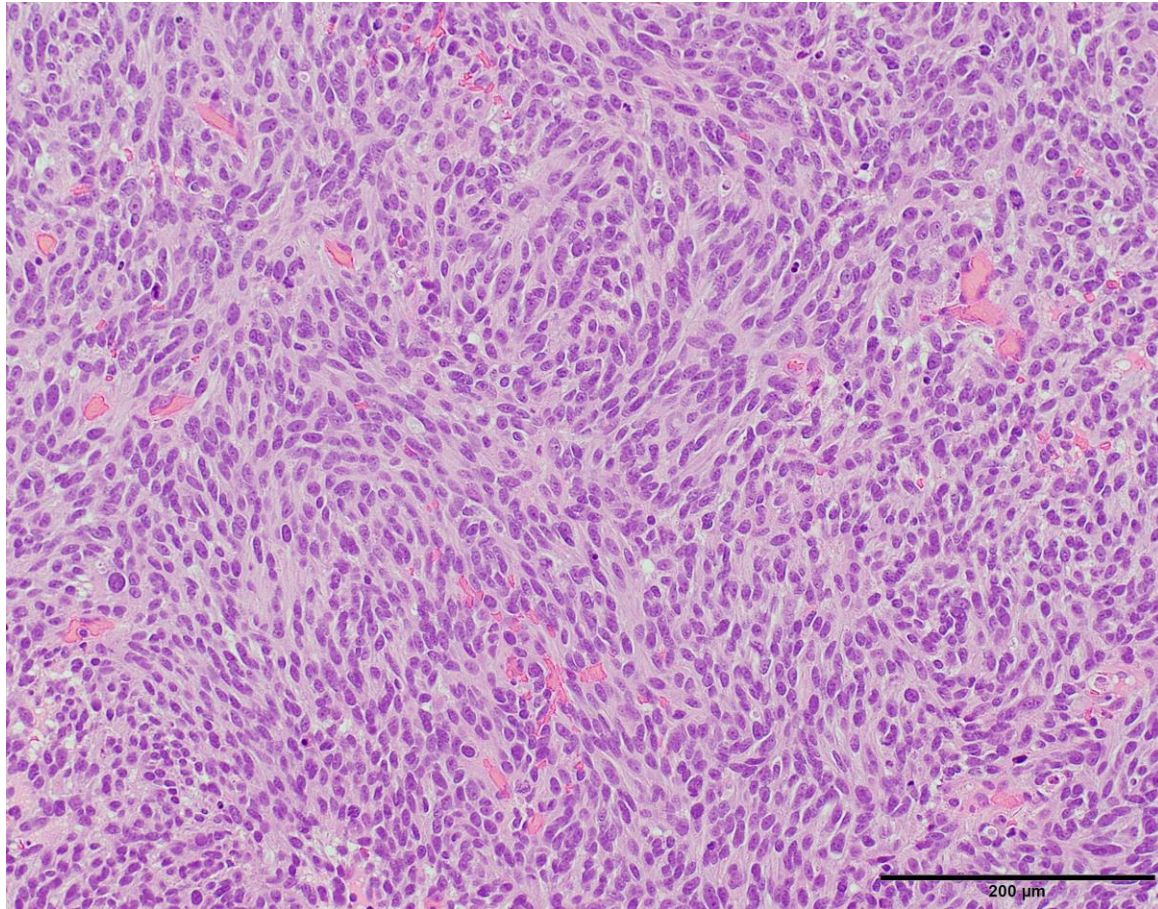


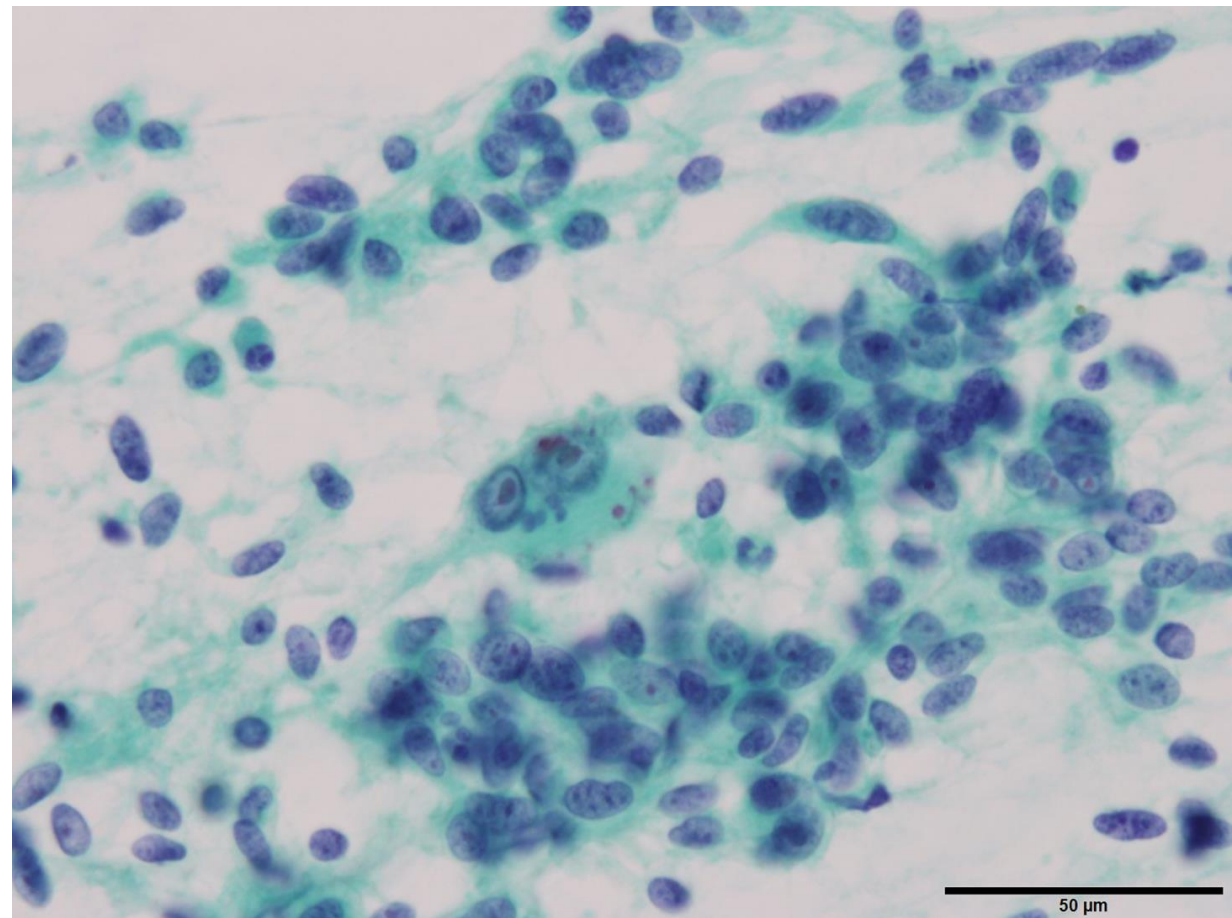
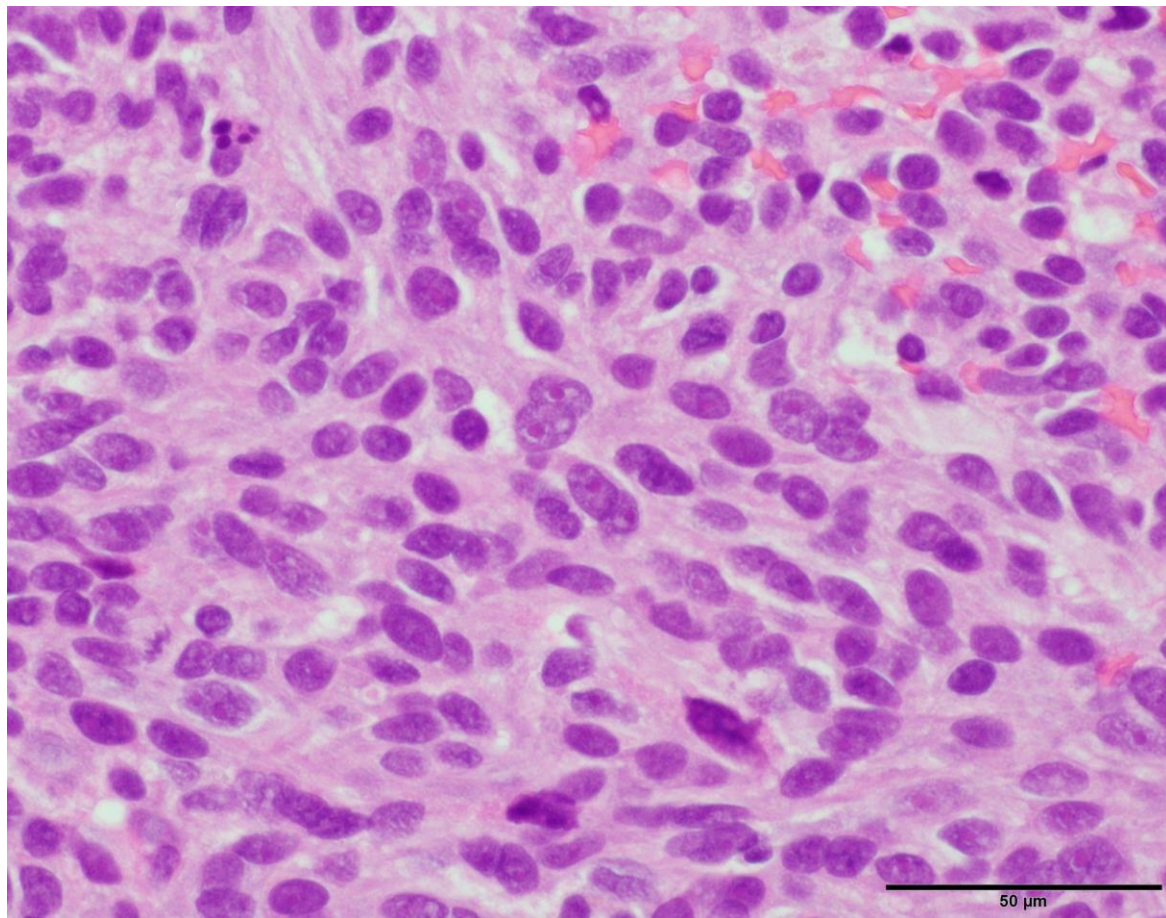
2年前

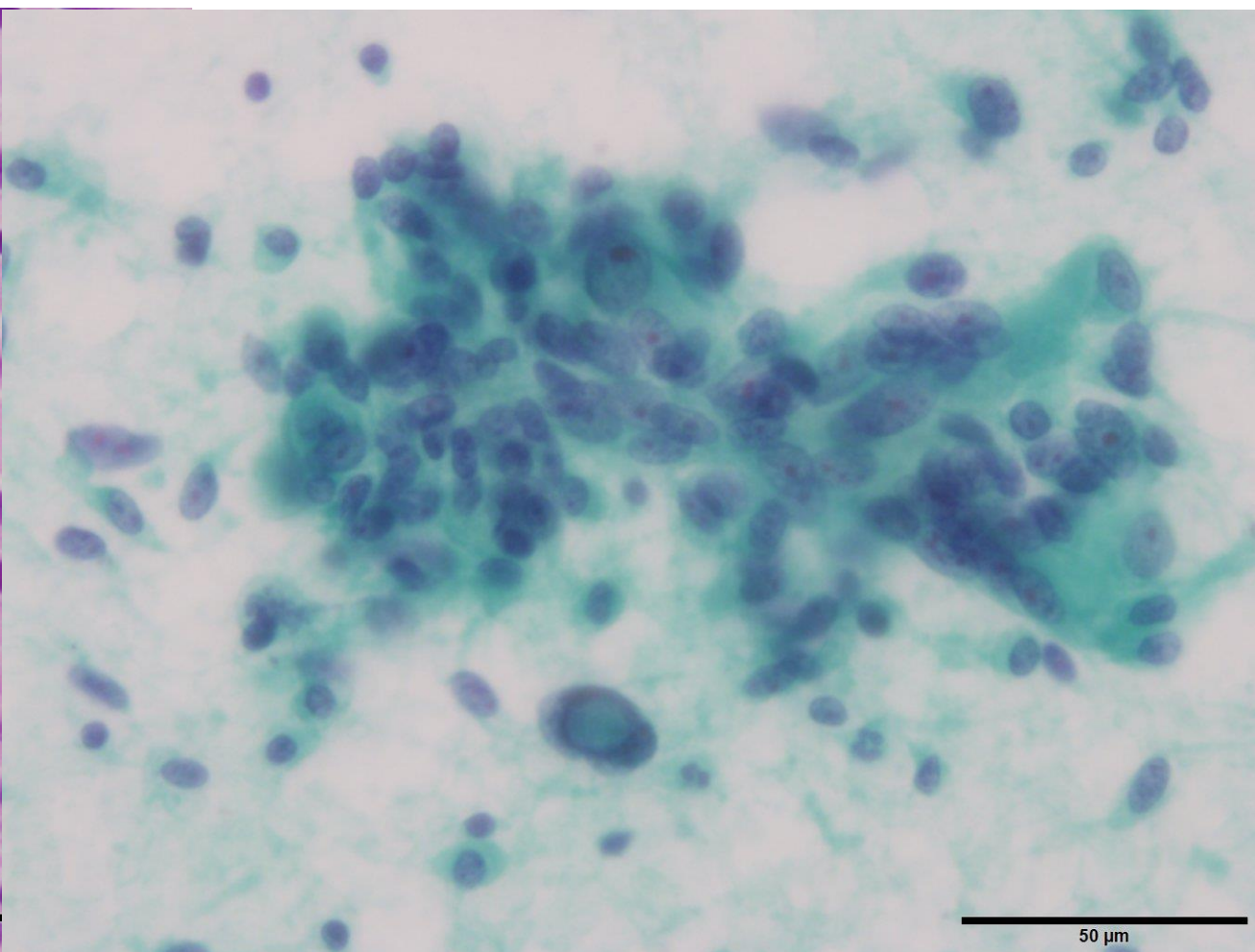
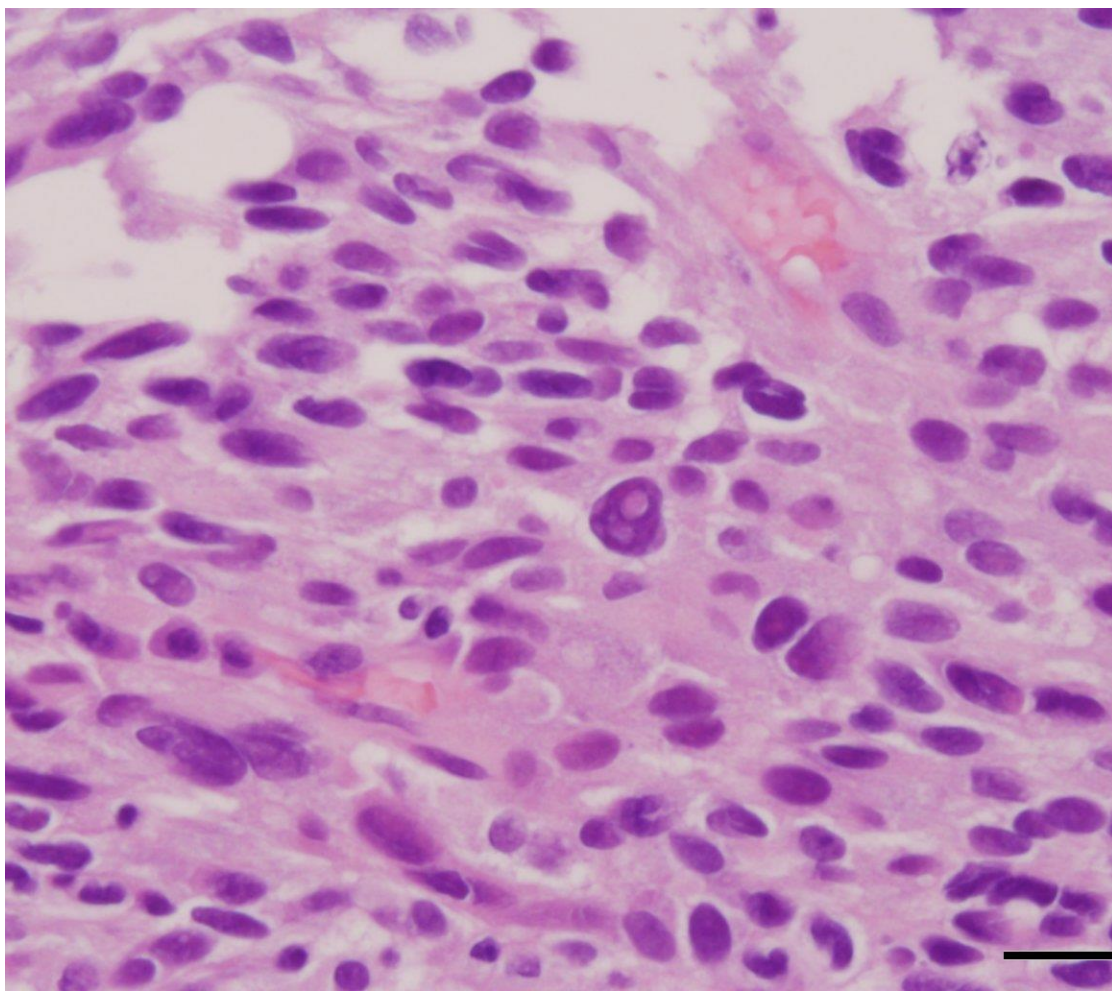


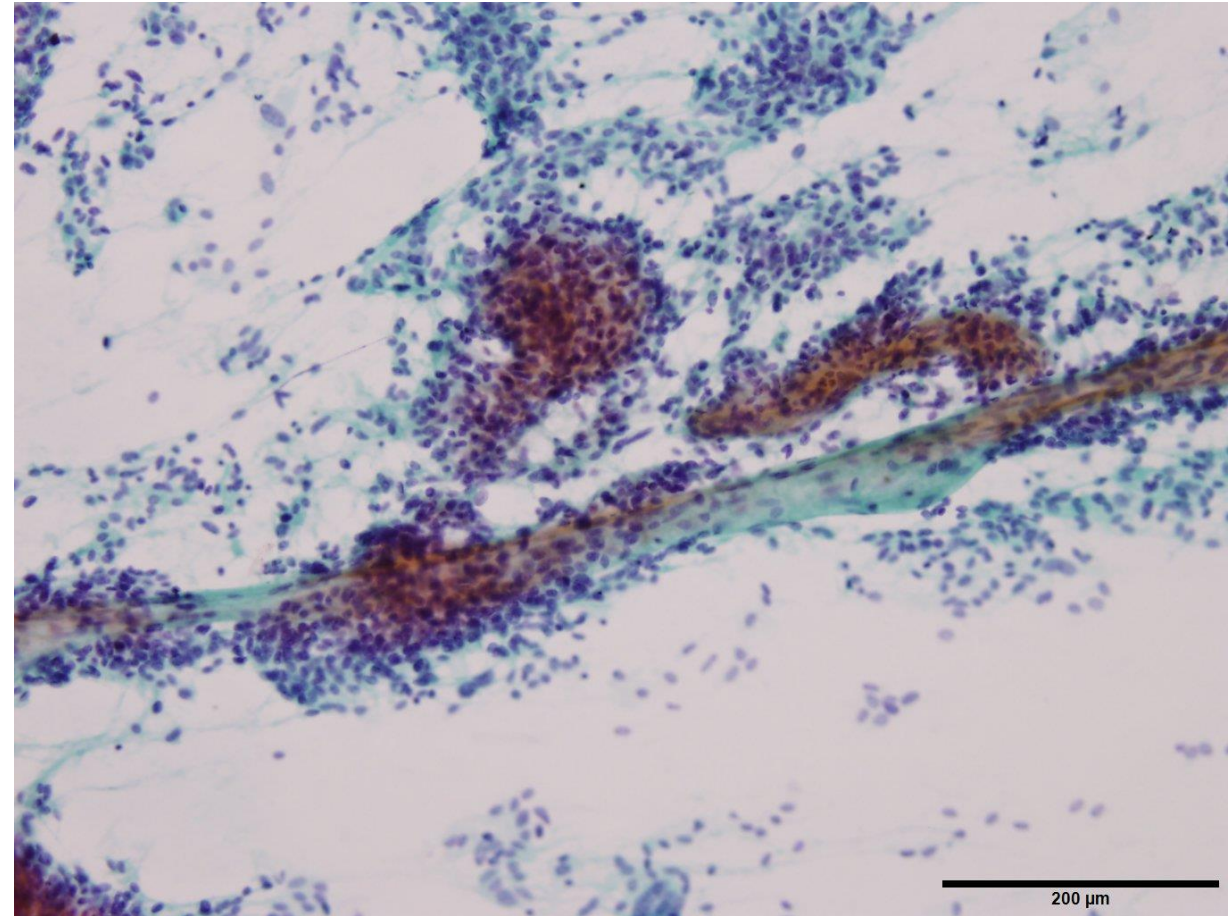
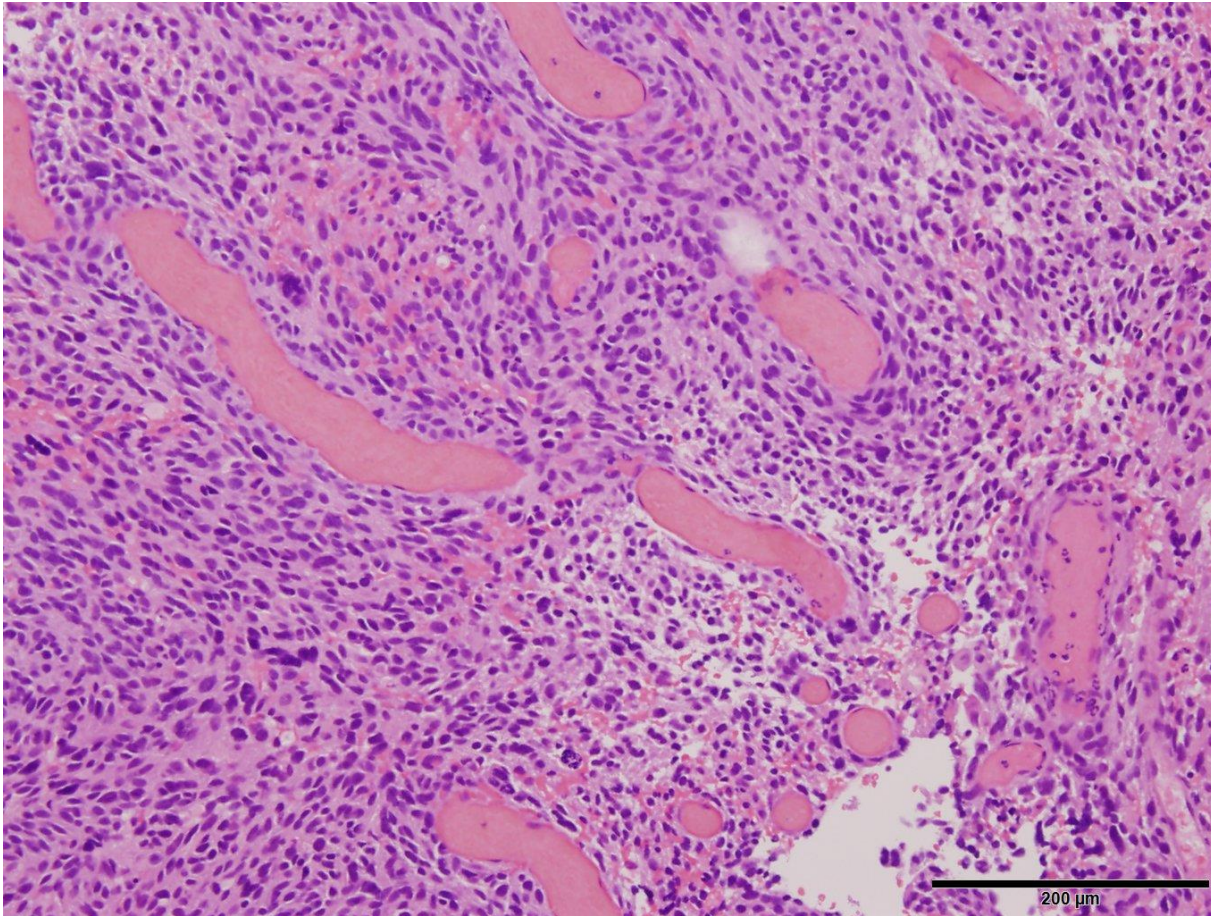
検体採取時

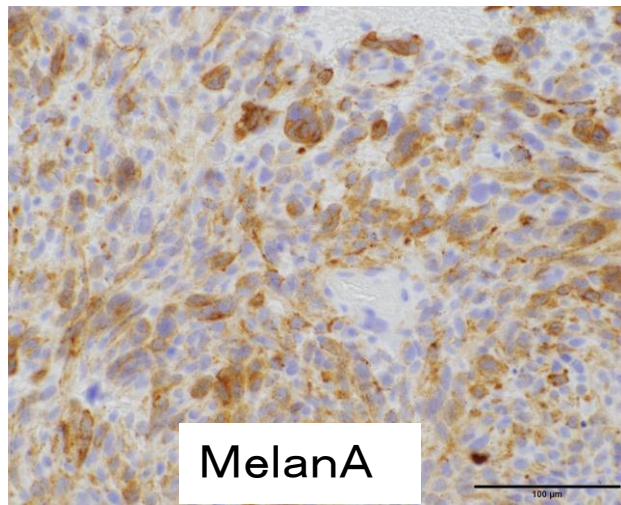




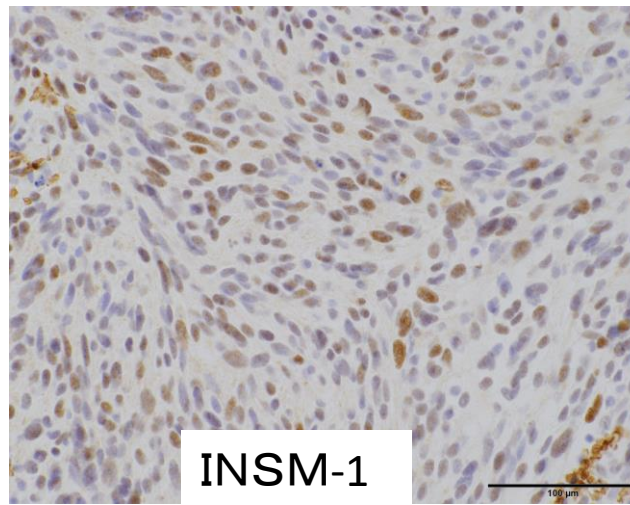




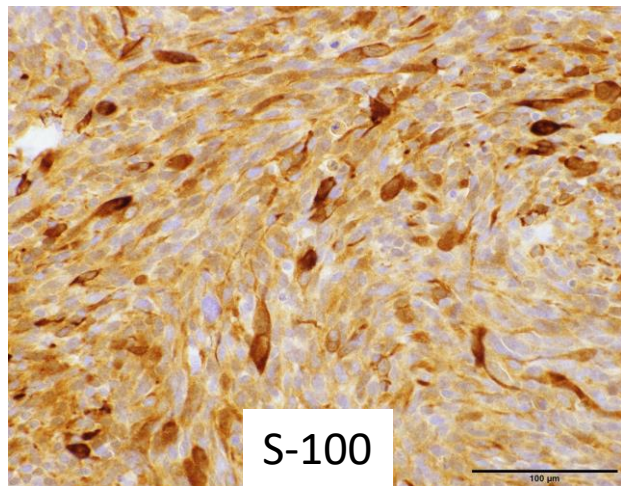




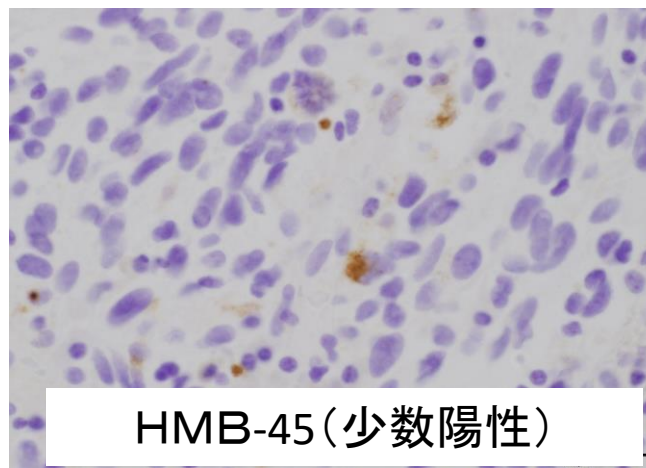
MelanA



INSM-1



S-100



HMB-45 (少数陽性)

Desmin, SMA, AE1/AE3, CK5/6, p40: 陰性



平滑筋肉腫
は否定的

上皮性腫瘍
は否定的

扁平上皮癌
は否定的

悪性黒色腫

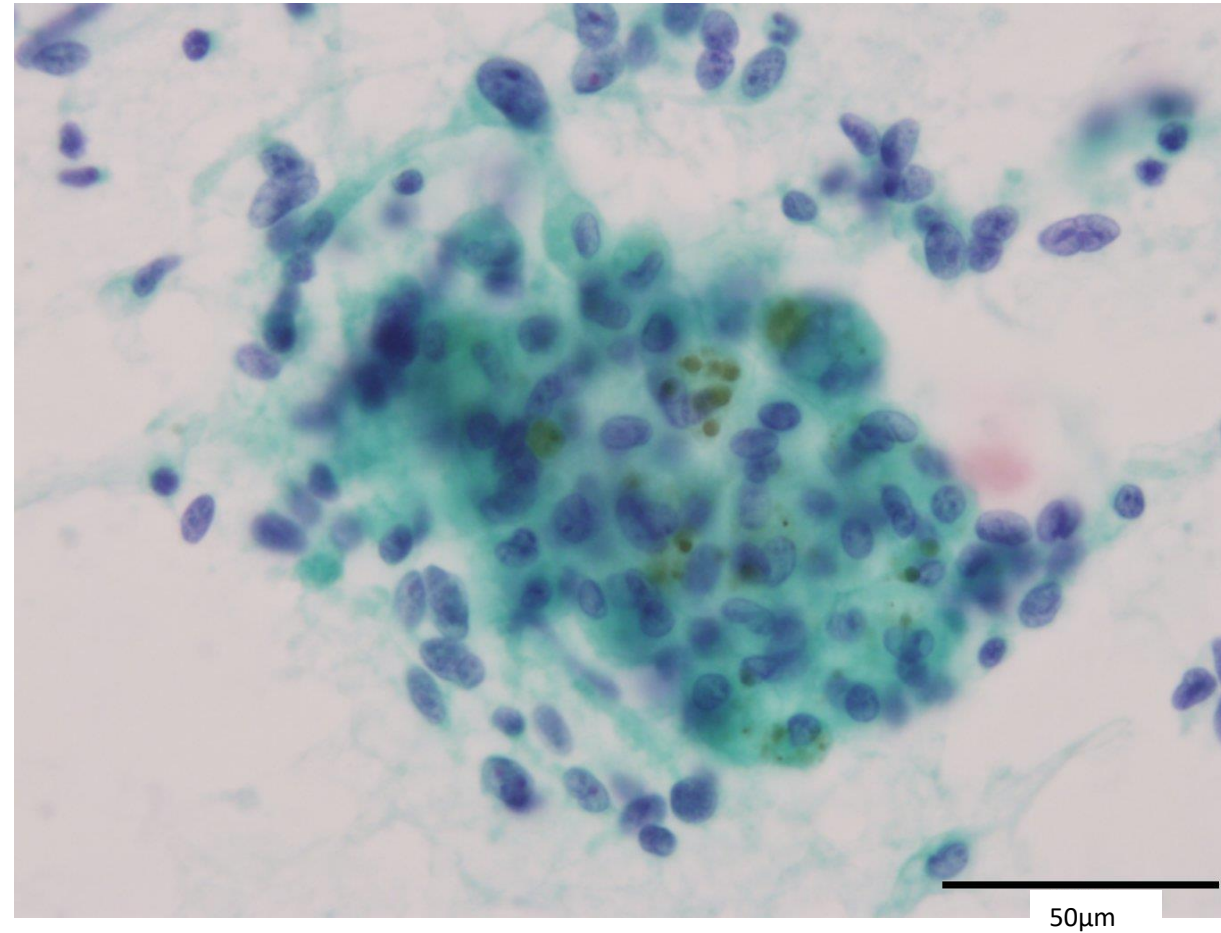
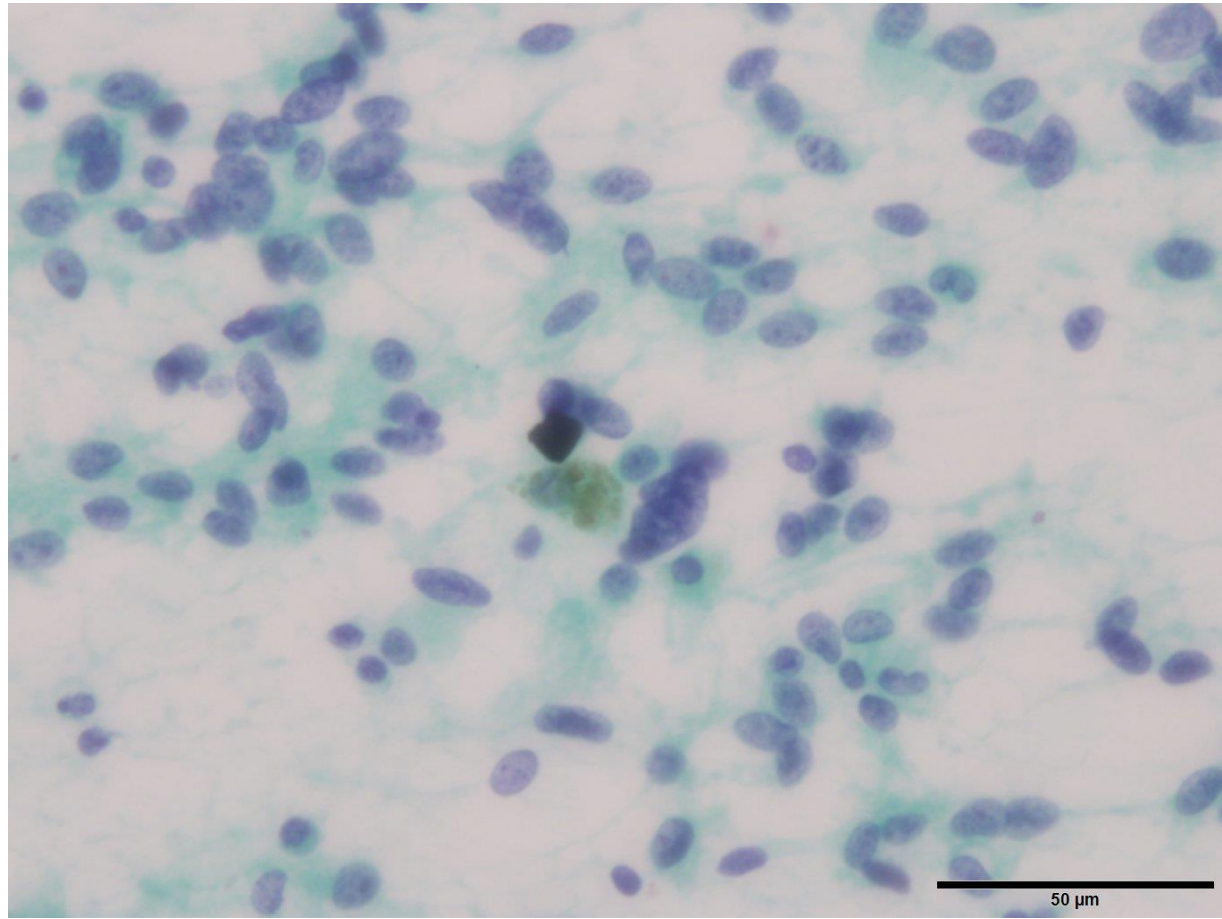
- 膣原発の悪性黒色腫は女性生殖器領域に発生するまれな腫瘍で、最も予後の悪い悪性腫瘍の一つである。5年生存率は10～20%とされる。
- 女性生殖器領域に発生する悪性黒色腫は、女性の悪性黒色腫の約3.5%といわれ、膣原発のものは1%以下である。
- 閉経後の発生が多く、60歳代に多く発生する。

- 悪性黒色腫はメラノサイト由来の悪性腫瘍で、異型細胞は類上皮様、樹状、紡錘状の細胞からなることが多く、メラニンを多量に含むものから全く含まないものもある。
- 細胞質はライトグリーンに染色され、核は円形や類円形、紡錘形、2核や多核など様々なパターンで出現する。
- 著明な核小体や打ち抜いたような核内細胞質封入体（アピッツ小体）を認める。

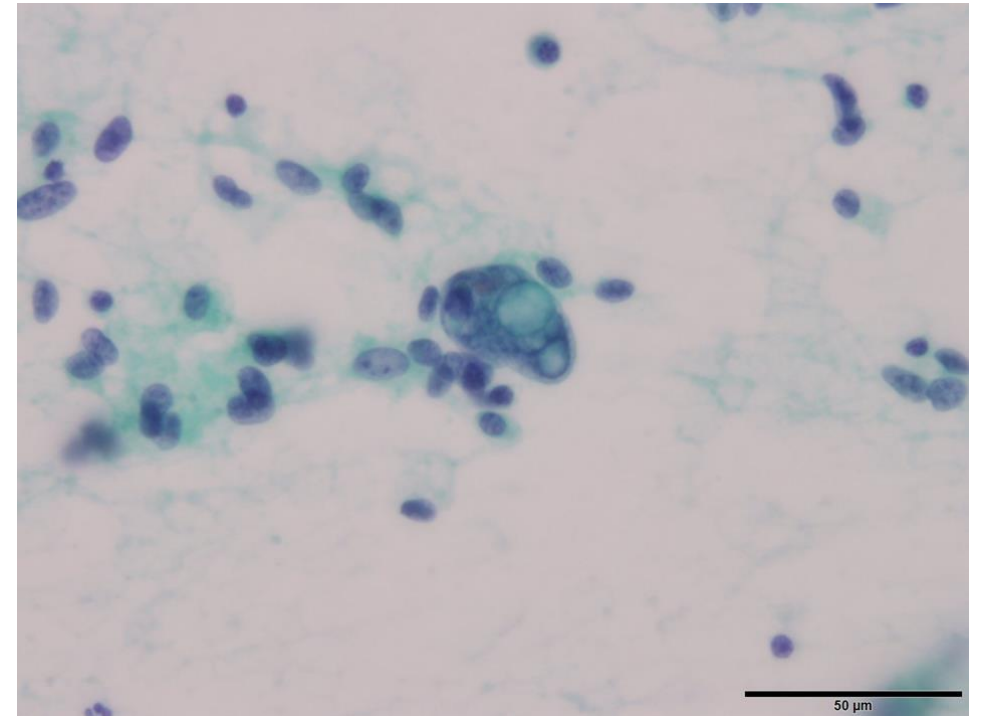
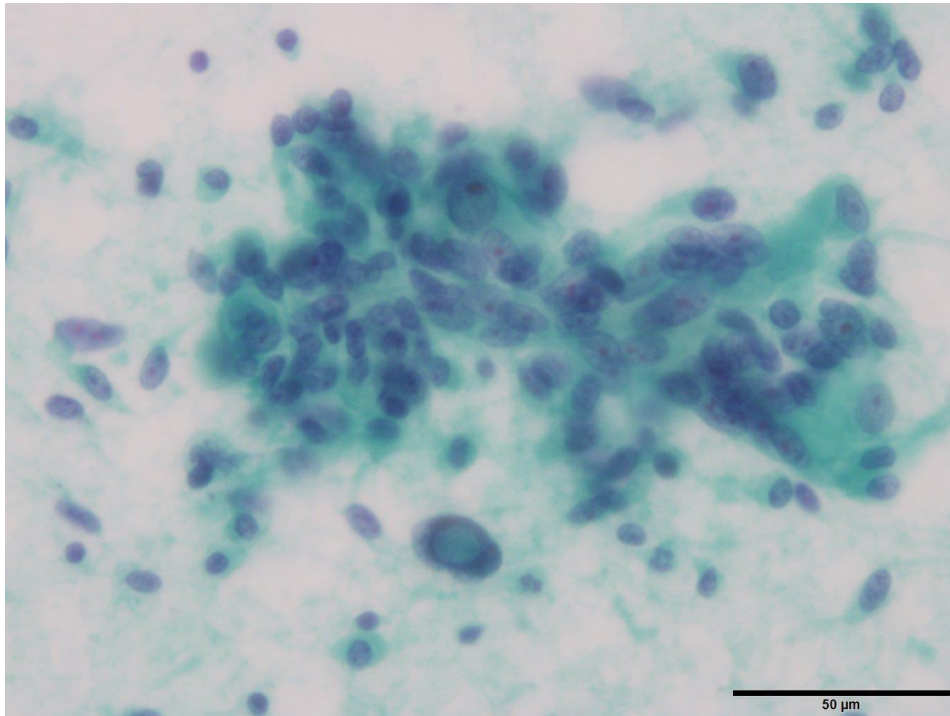
- 当院での細胞診断は陽性、Class V
神経内分泌癌、低分化扁平上皮癌、非上皮性腫瘍が
鑑別にあがると報告した。

組織診の結果を受けて再鏡検すると、スライドに提示したような
核内細胞質封入体（アピッツ小体）、メラニンを貪食した組織球
（メラノファージ）、数は少ないがメラニン顆粒を認めた。

メラニン顆粒が目立つ箇所



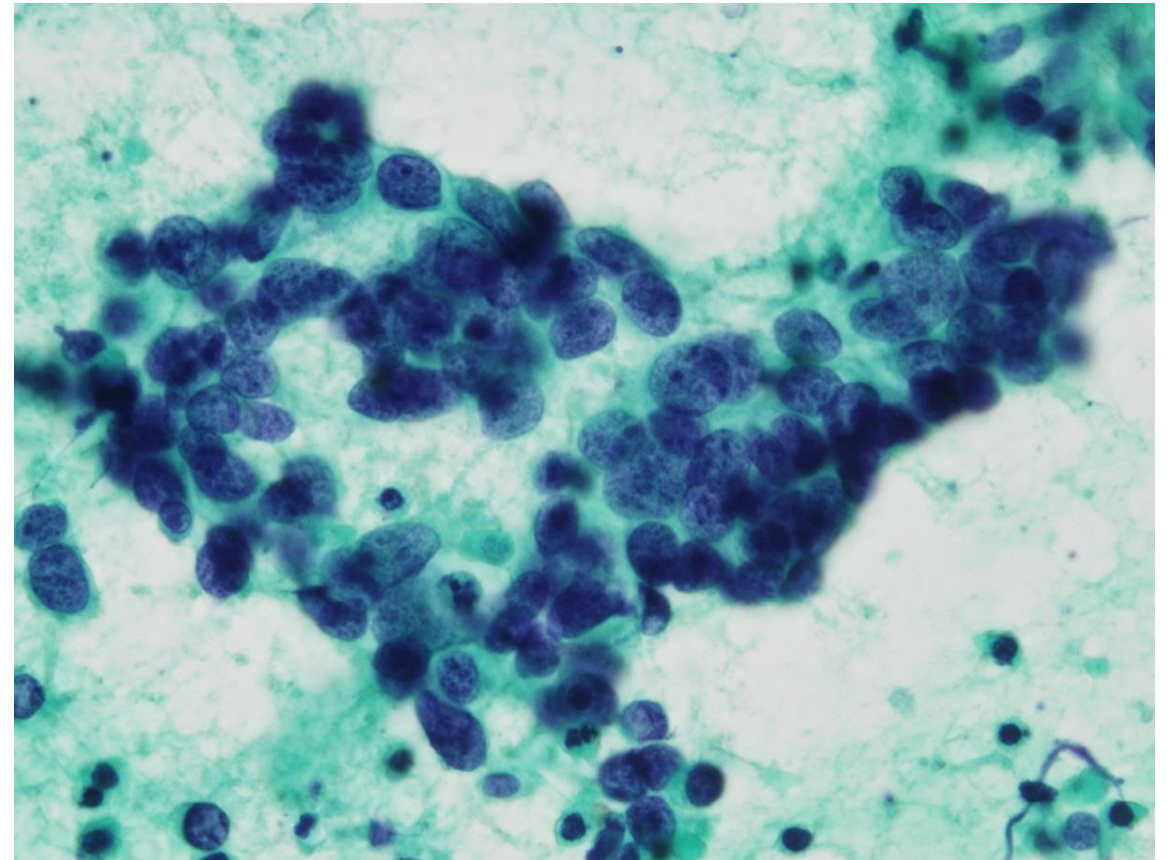
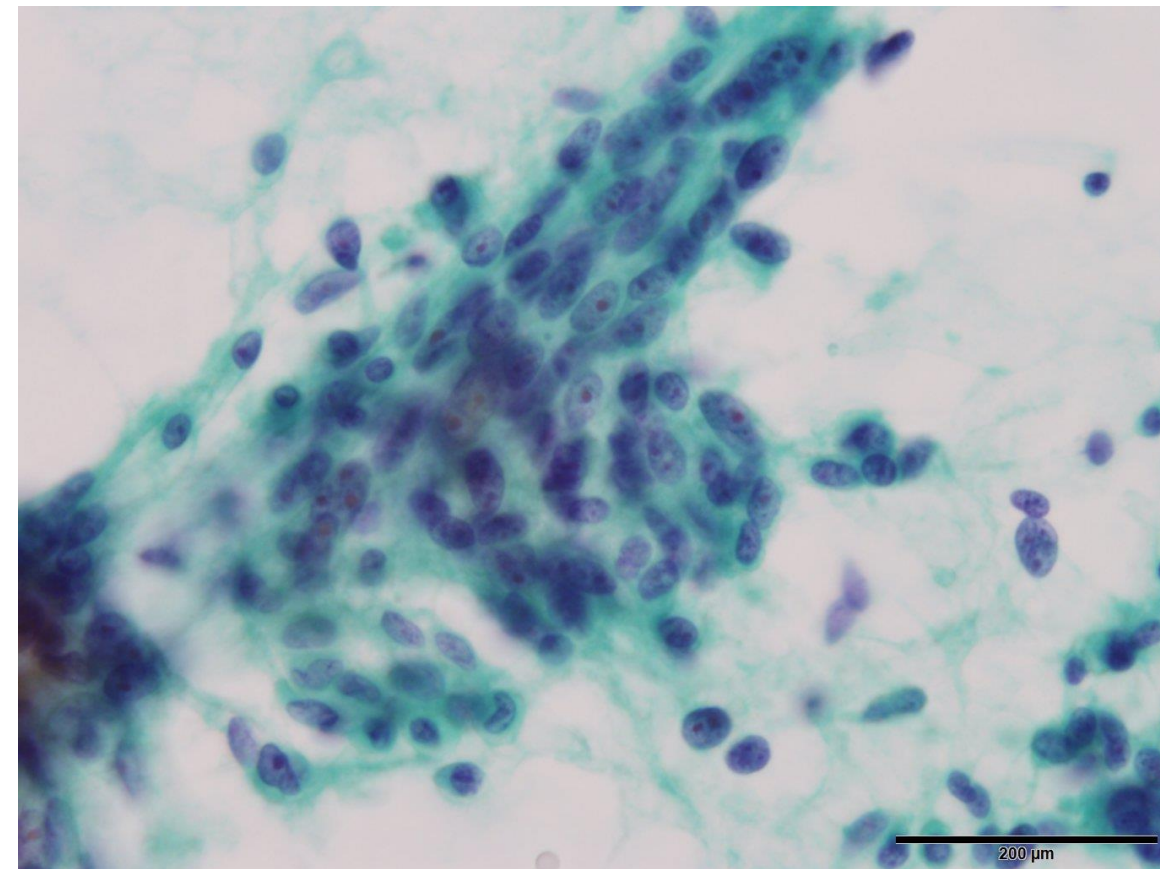
- 出現パターンの多彩さ、異型の強さに目が行き、これらの所見を見落としていた。
- 非メラニン産生性の悪性黒色腫では特に核内細胞質封入体が目立つ傾向にある。(細胞診ガイドラインより)



悪性黒色腫

VS

神経内分泌癌

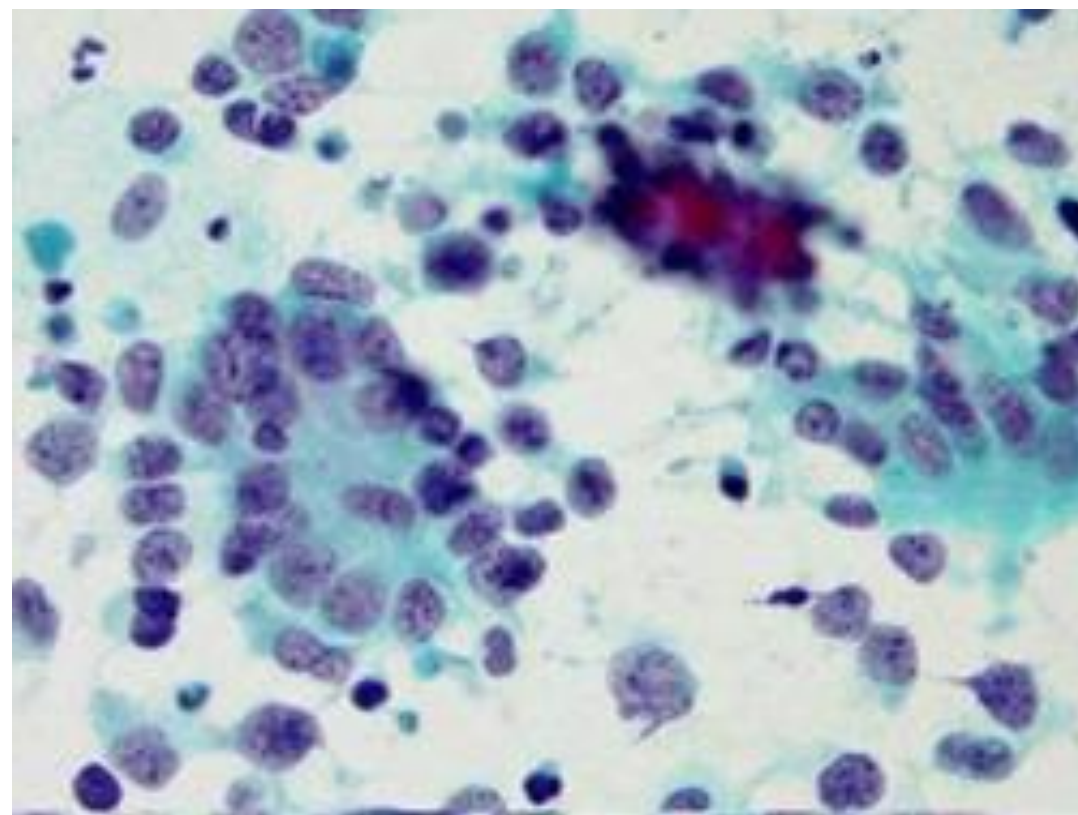
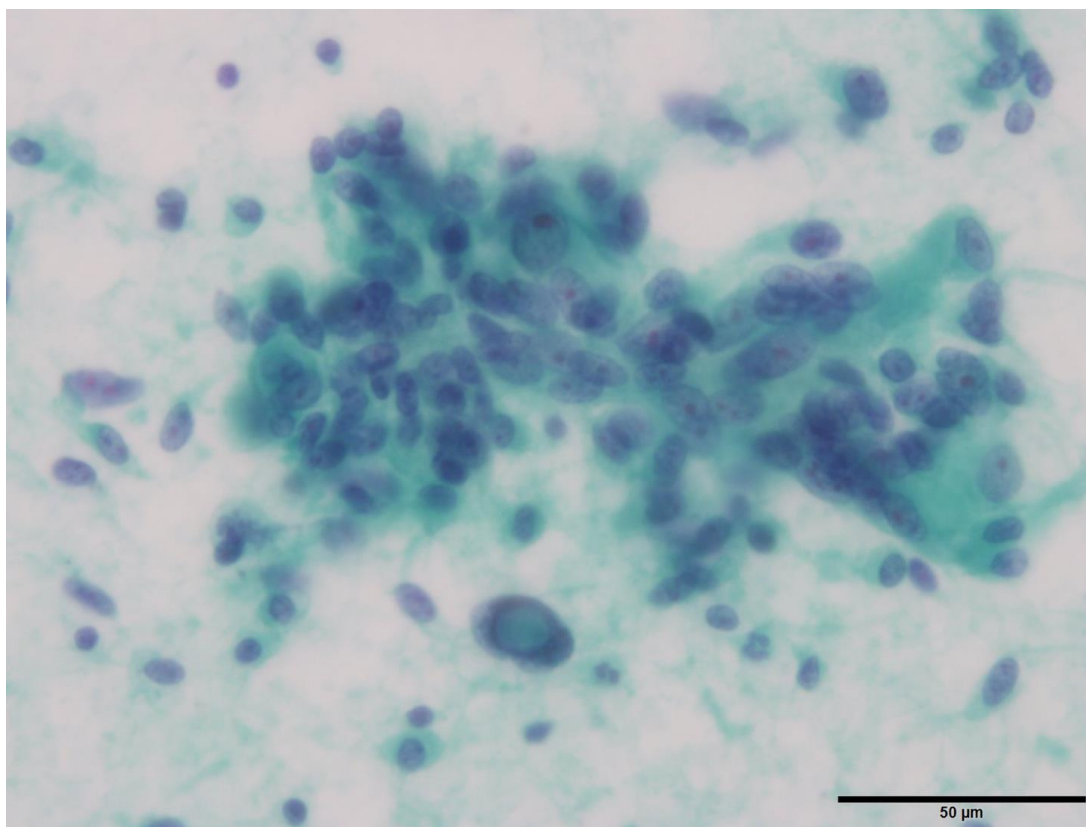


× 40

悪性黒色腫

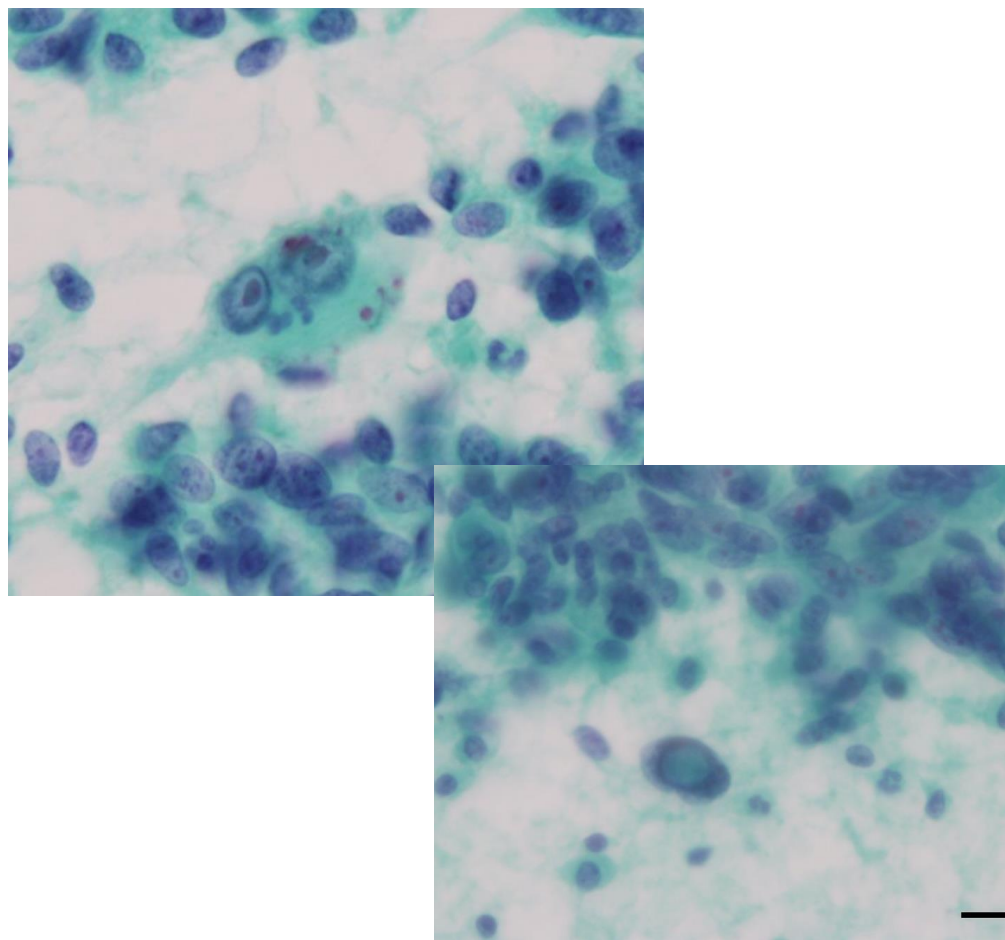
VS

神経内分泌癌



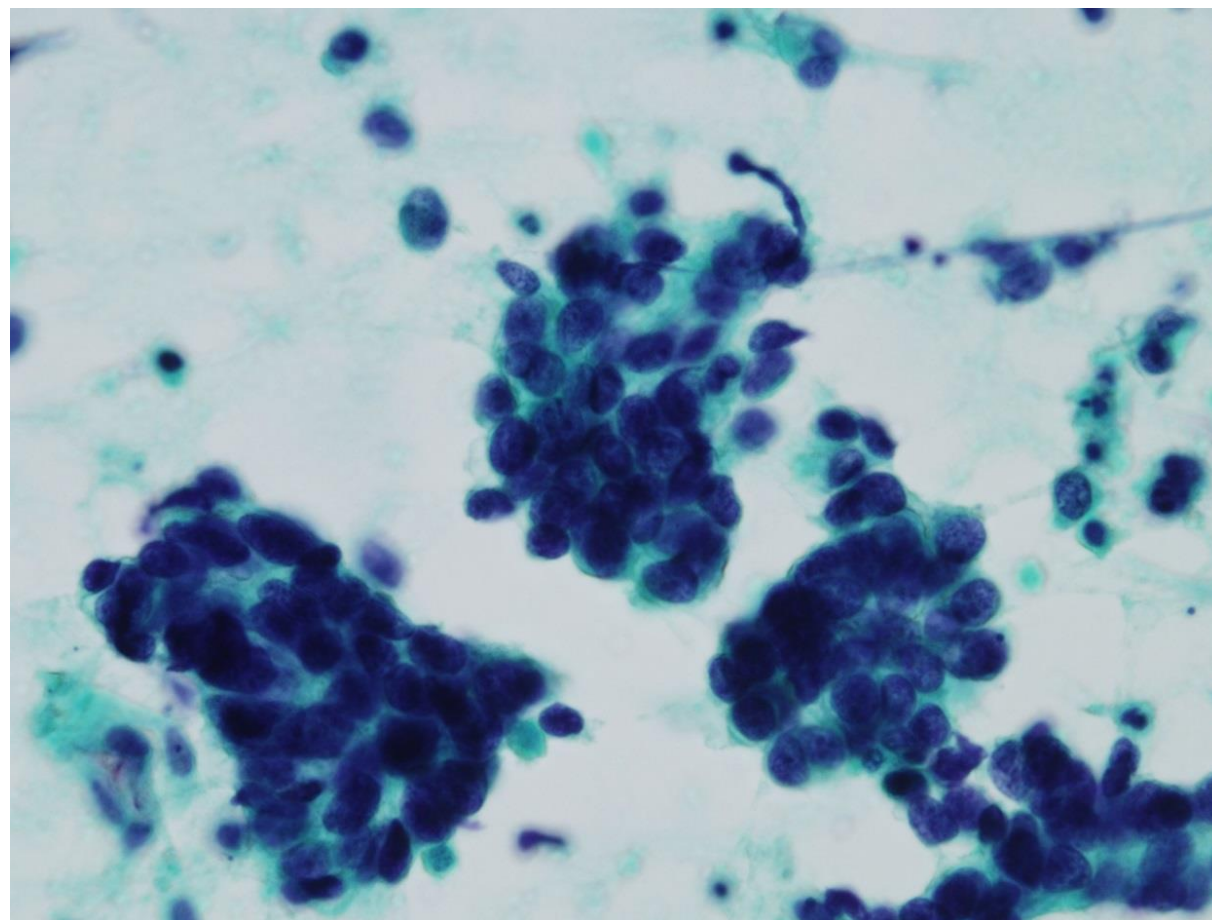
× 40

悪性黒色腫



VS

神経内分泌癌

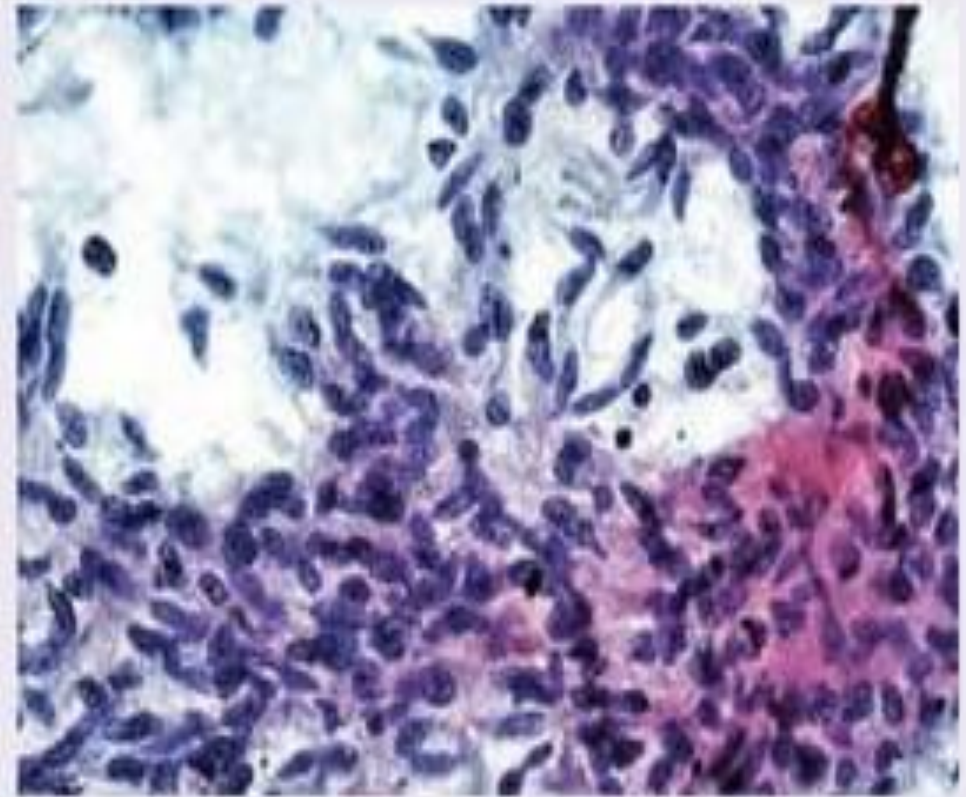
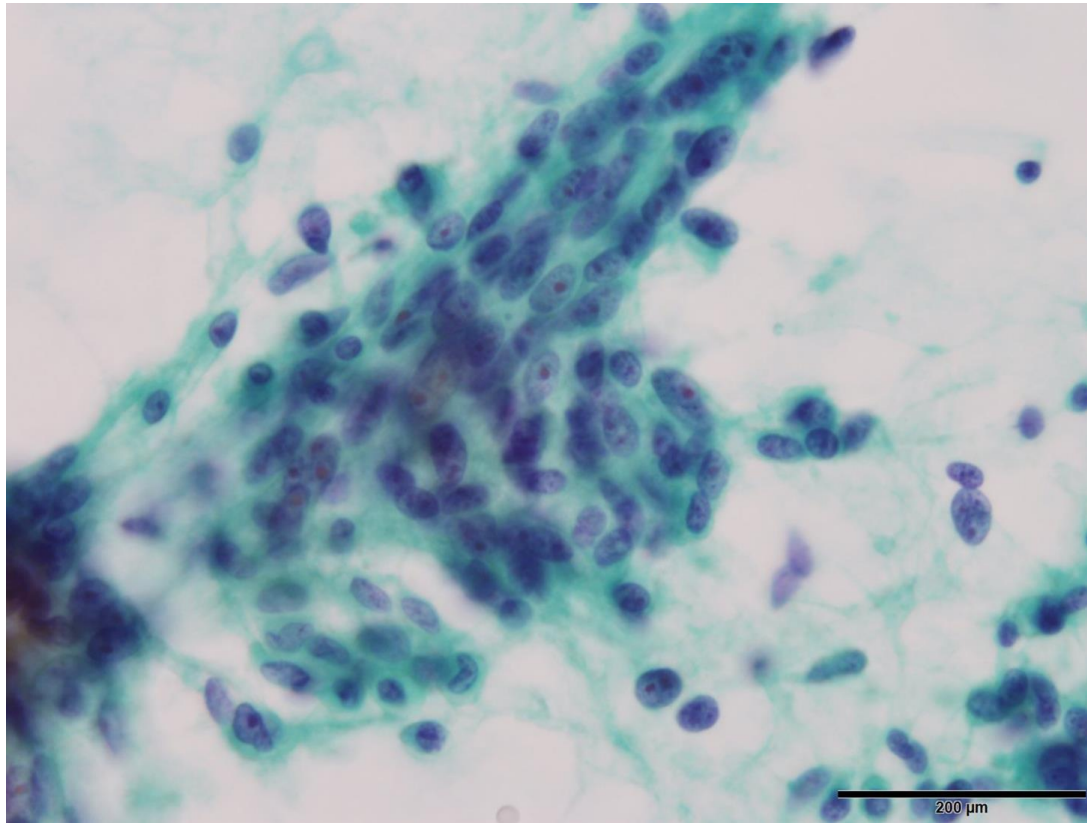


× 40

恶性黑色腫

VS

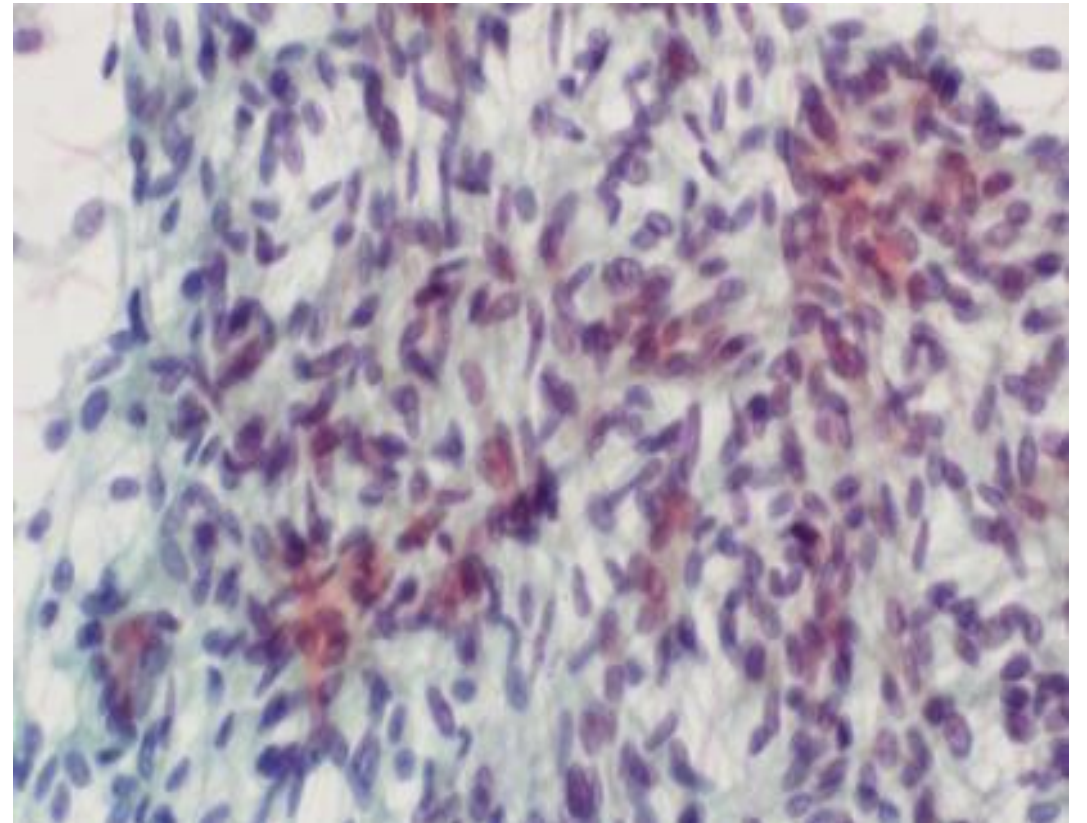
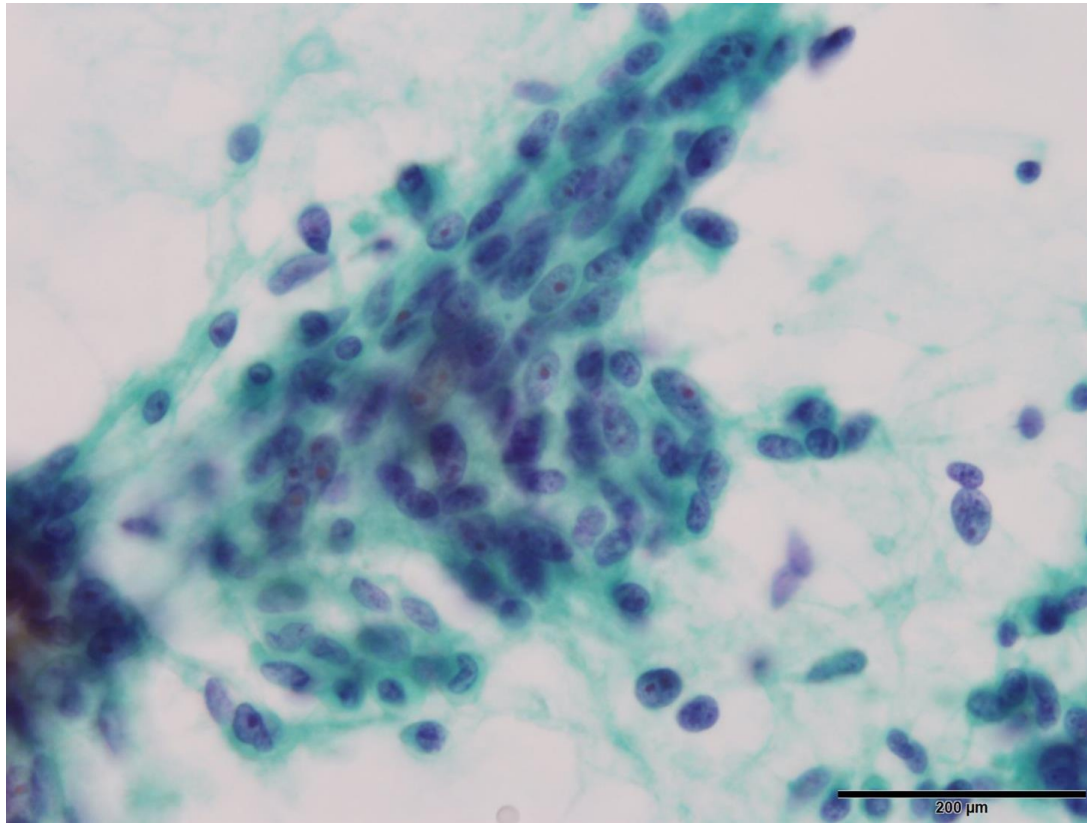
平滑筋肉腫



恶性黑色腫

VS

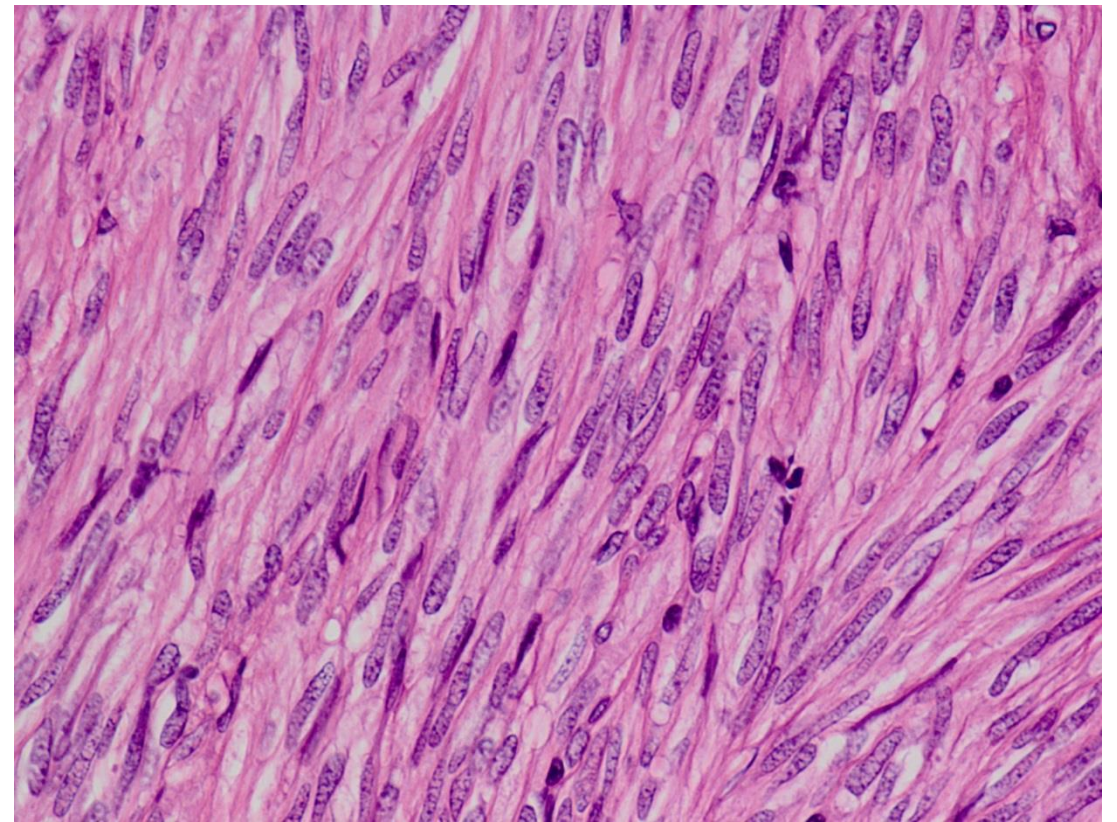
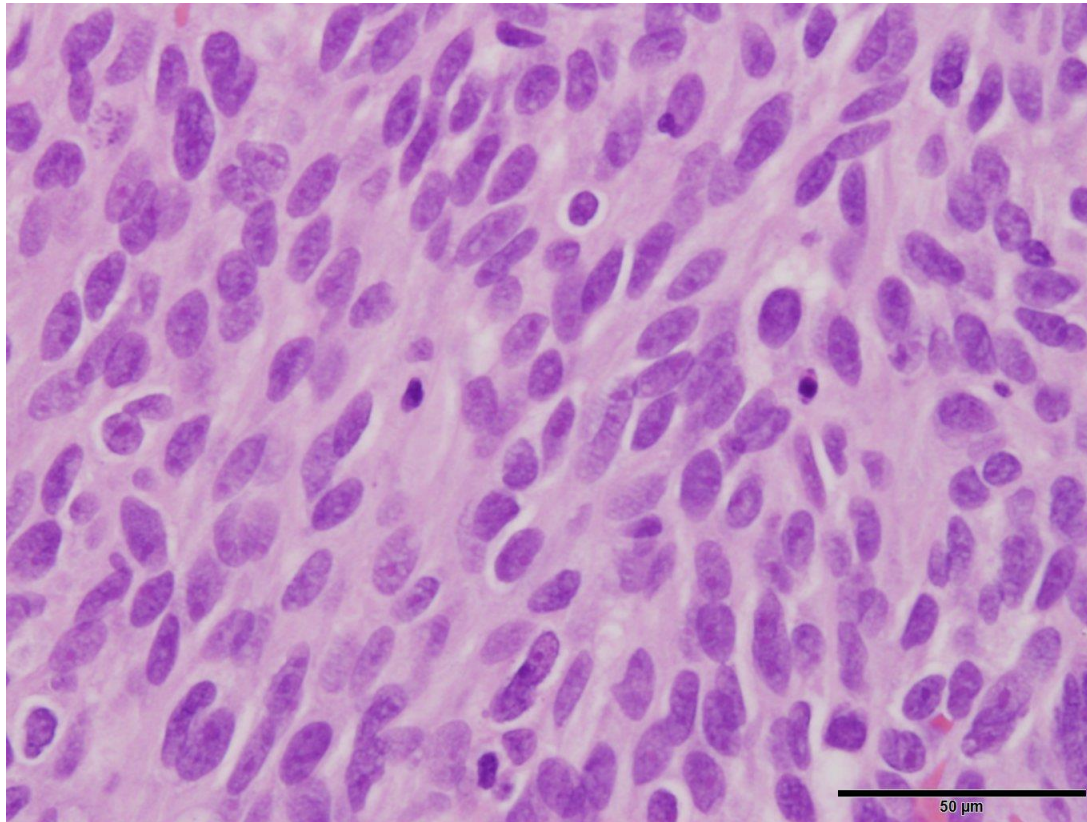
平滑筋肉腫



恶性黑色腫

VS

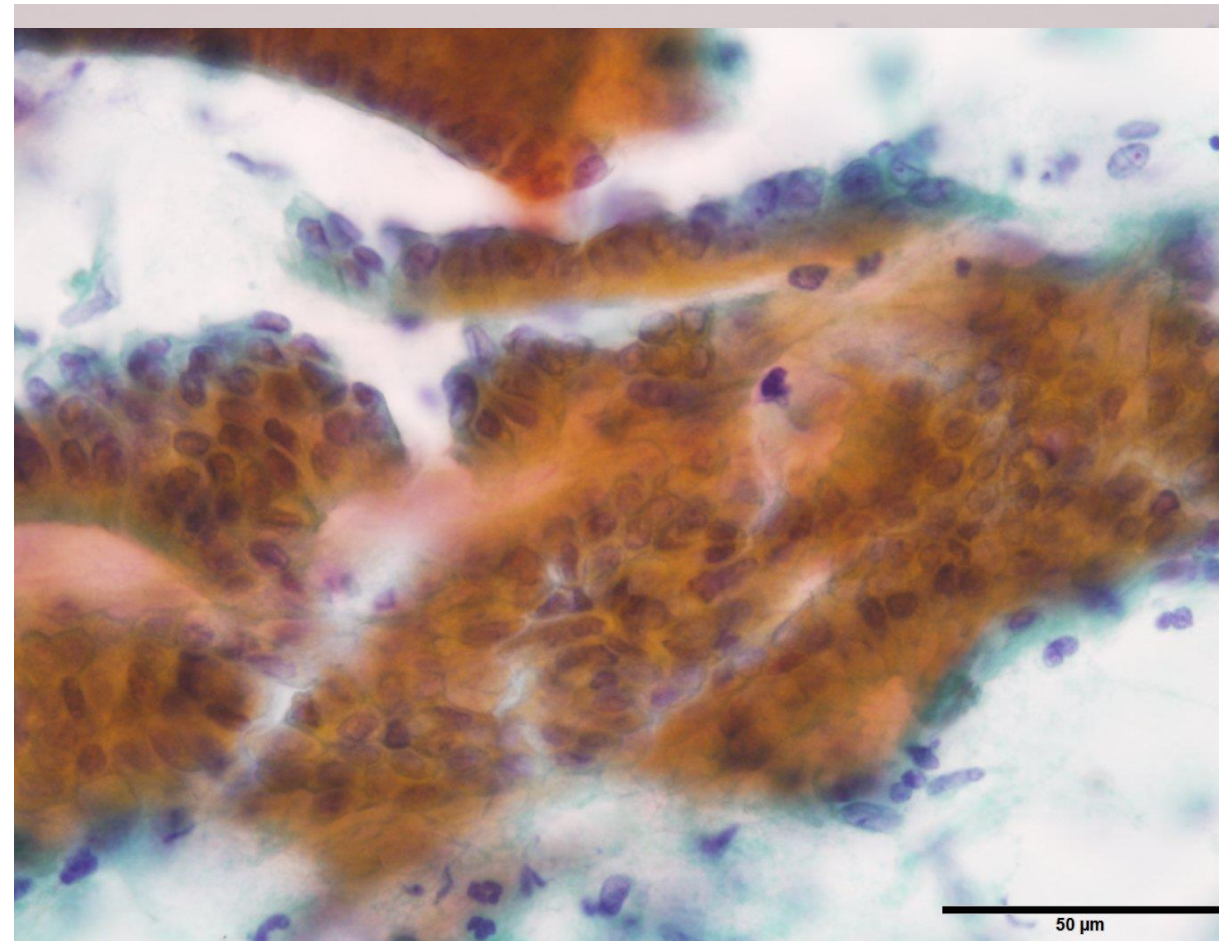
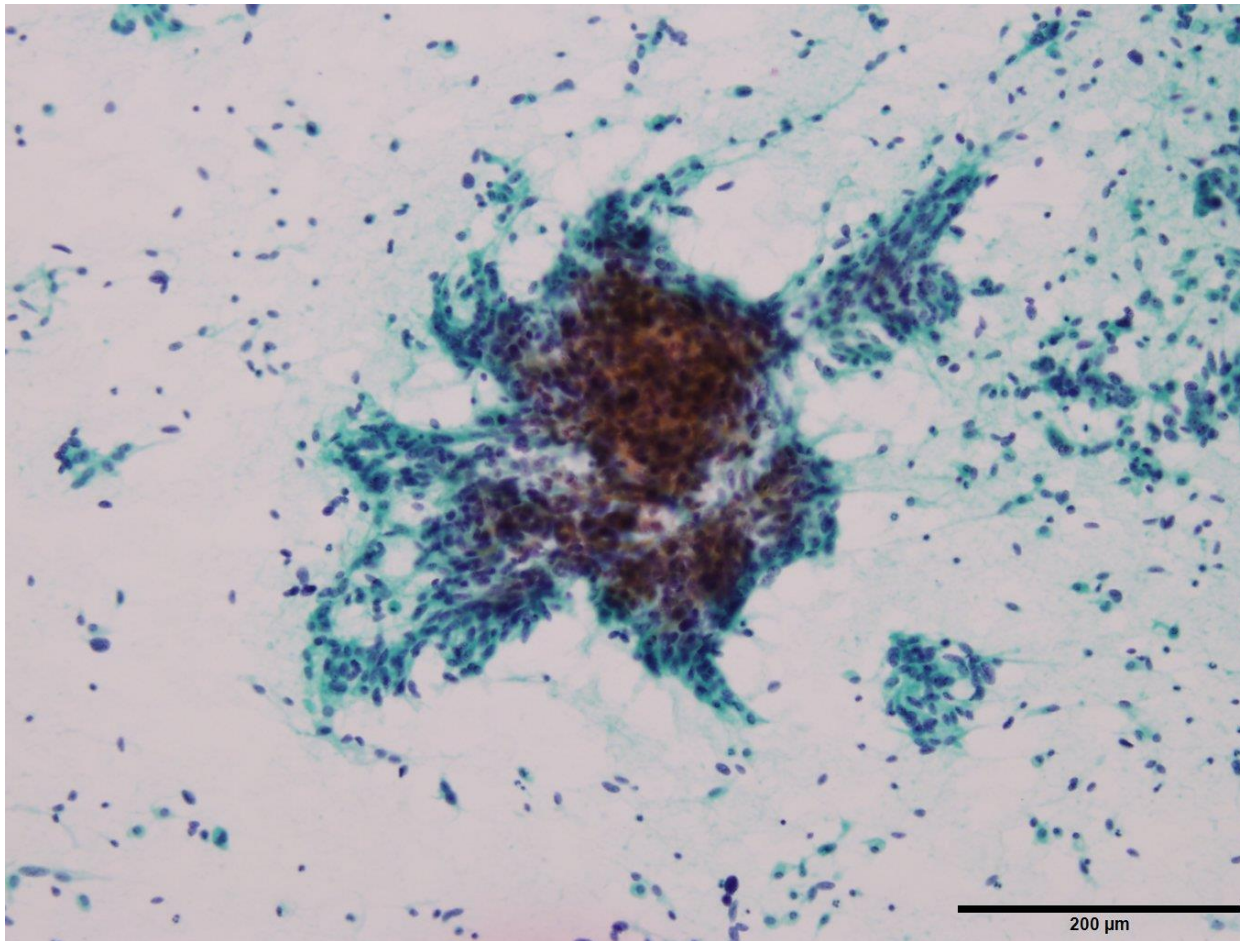
平滑筋肉腫



恶性黑色腫

VS

頸部腺癌

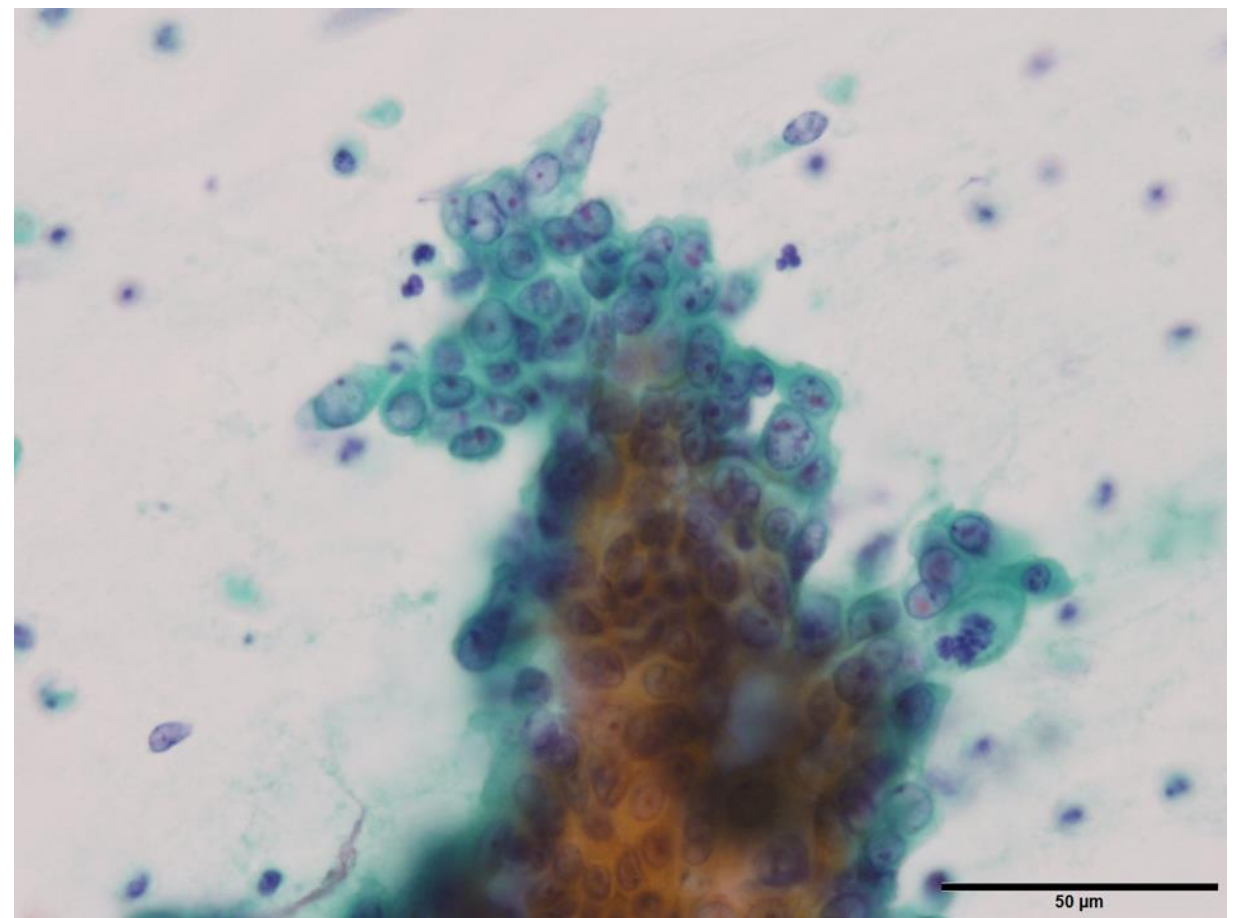
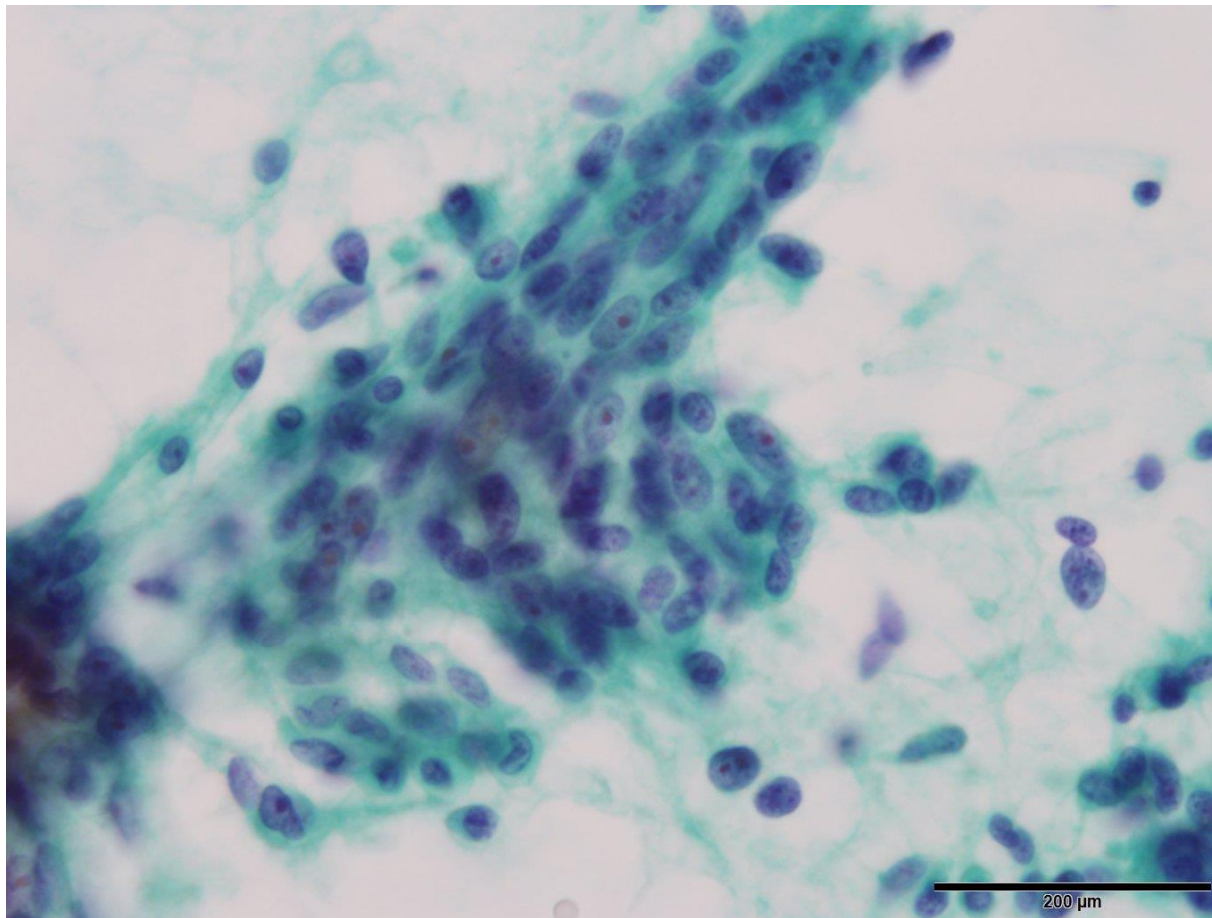


× 40

恶性黑色腫

VS

頸部腺癌

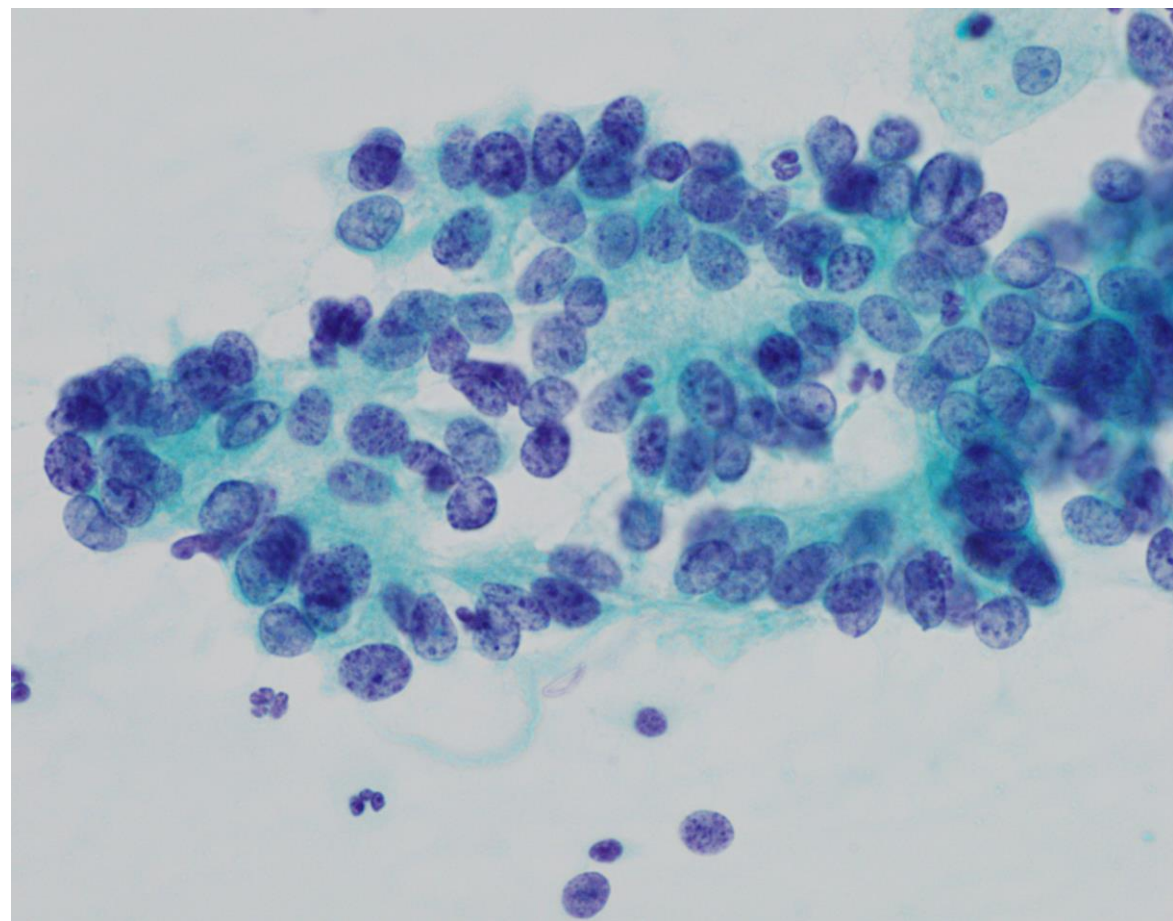
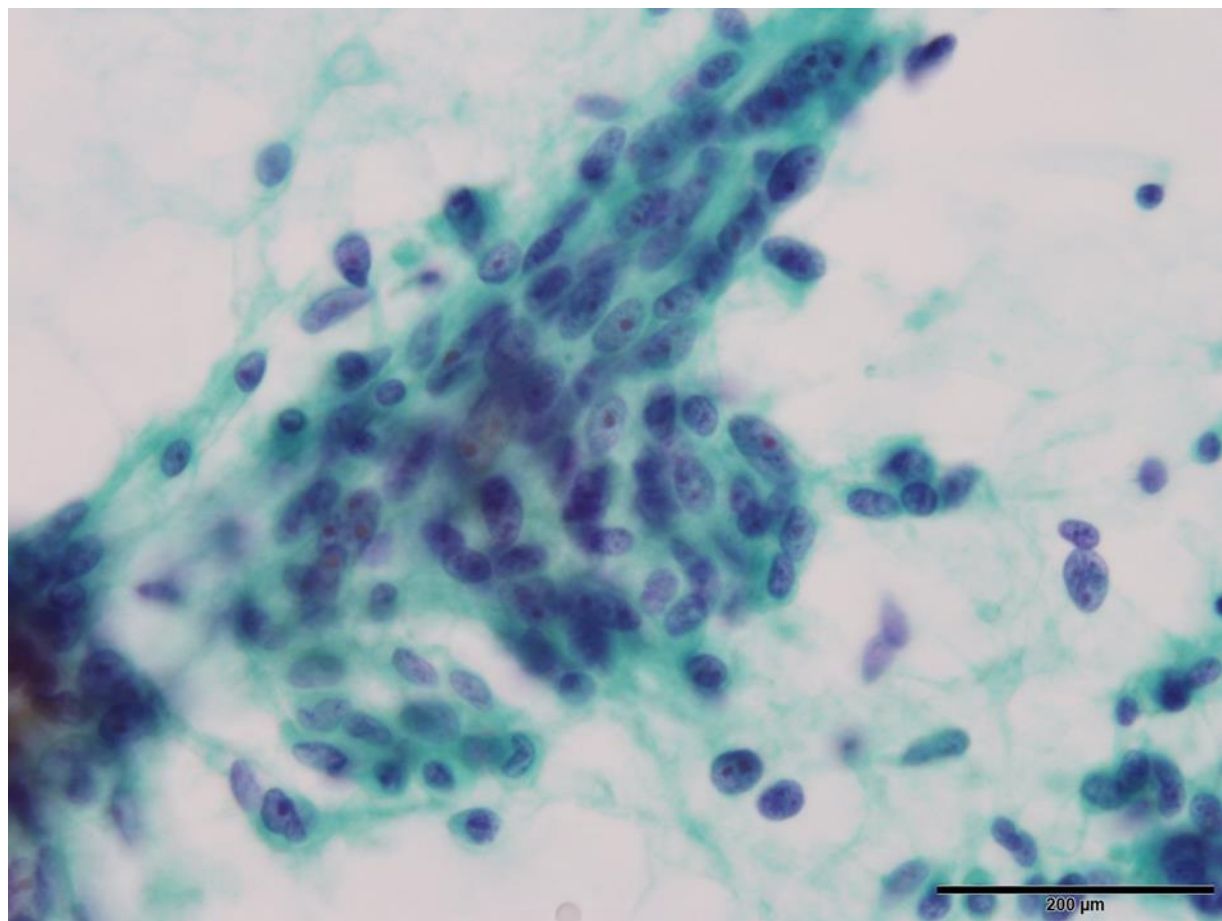


× 40

惡性黑色腫

VS

頸部腺癌

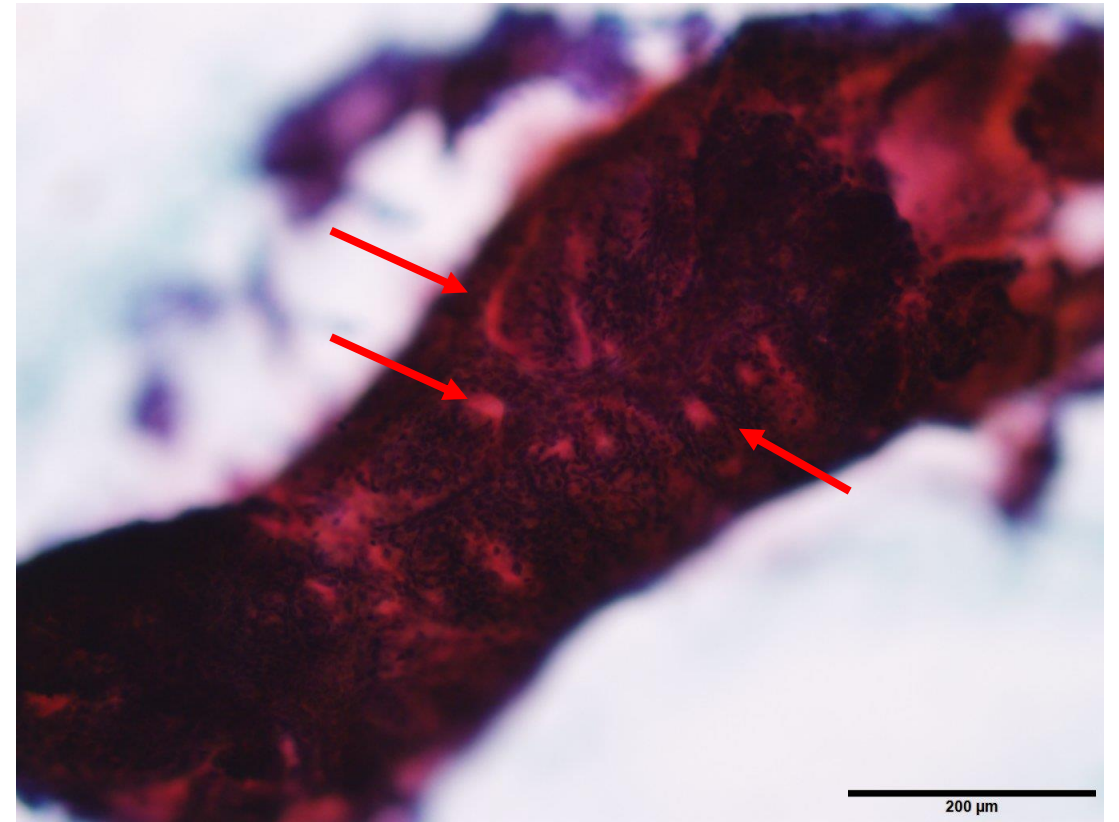
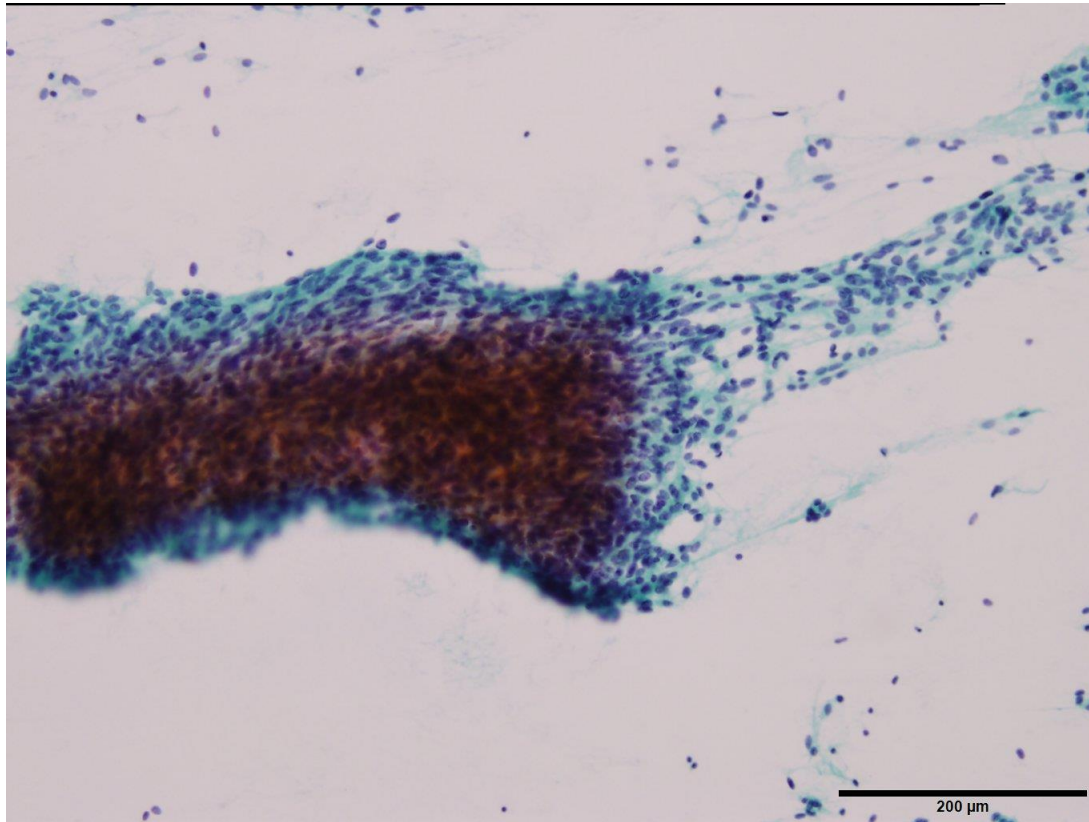


× 40

悪性黒色腫

VS

類内膜癌

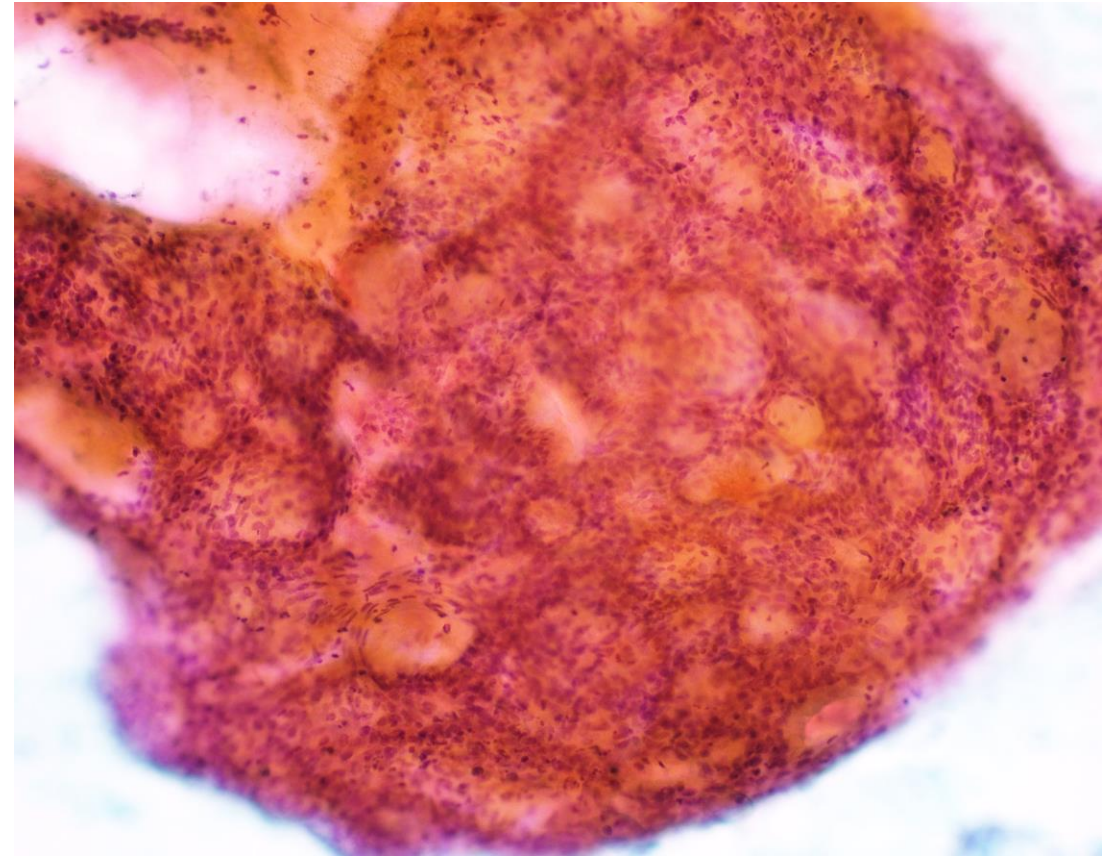
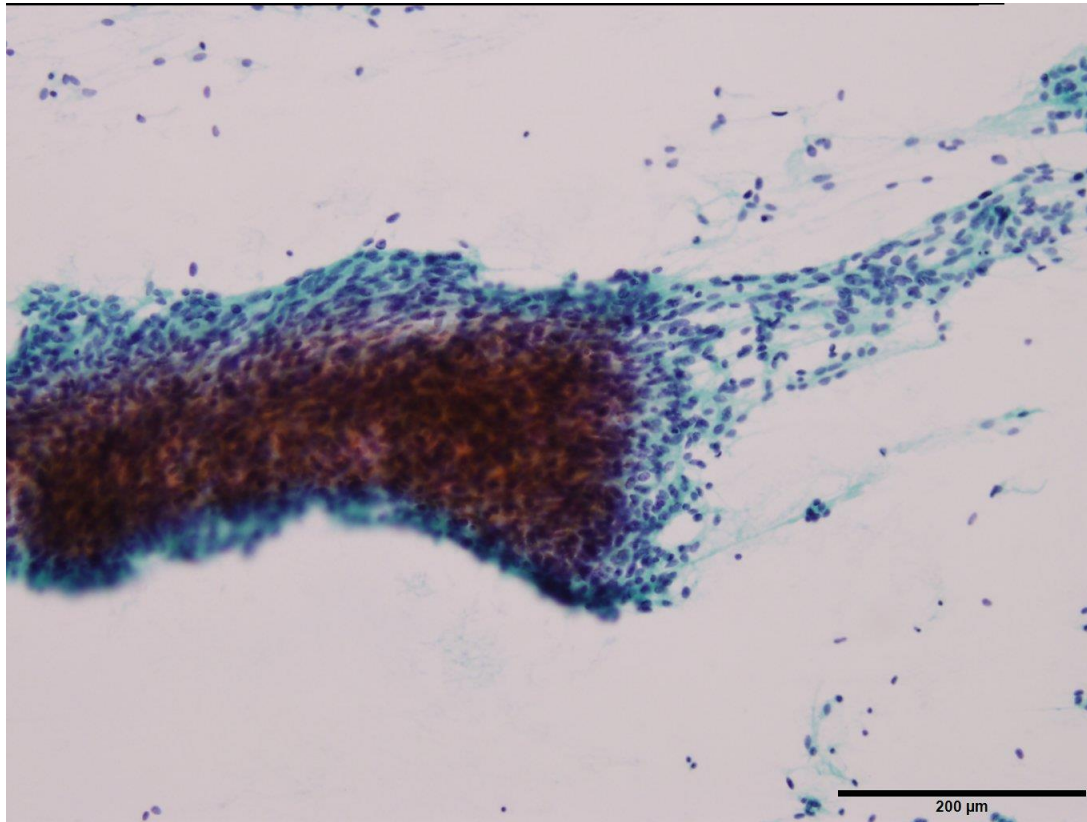


× 10

悪性黒色腫

VS

類内膜癌

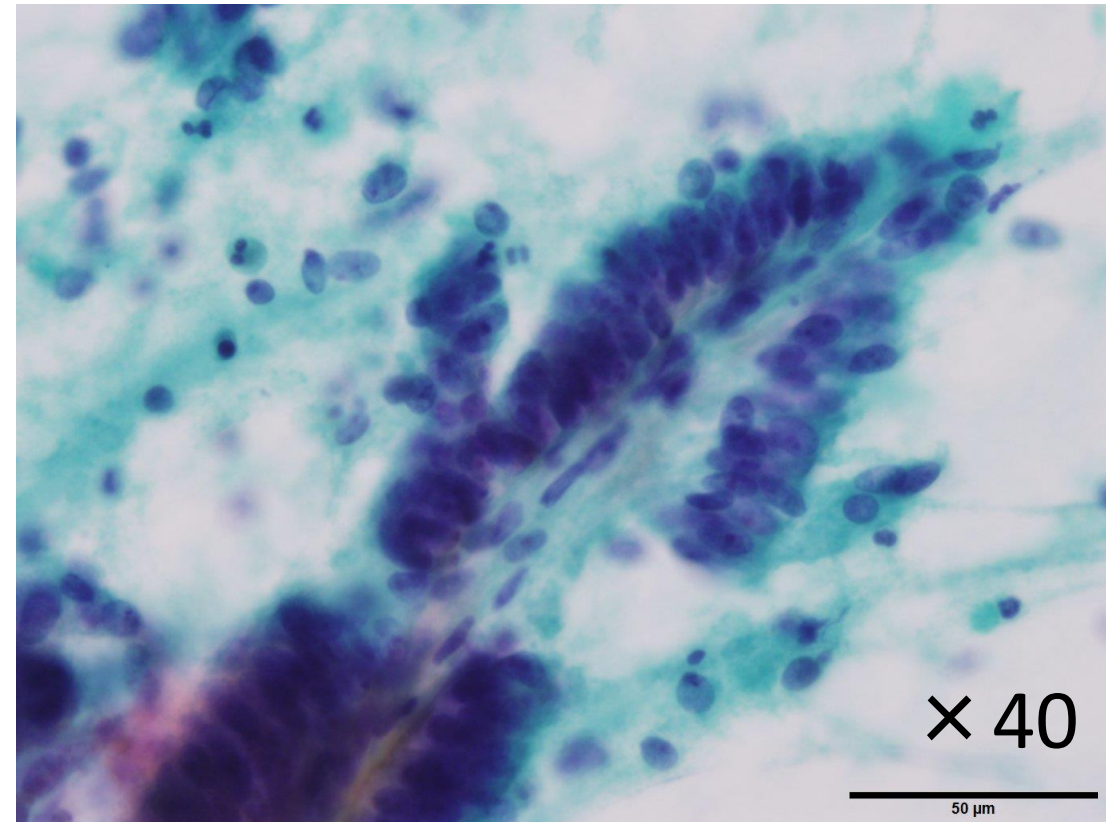
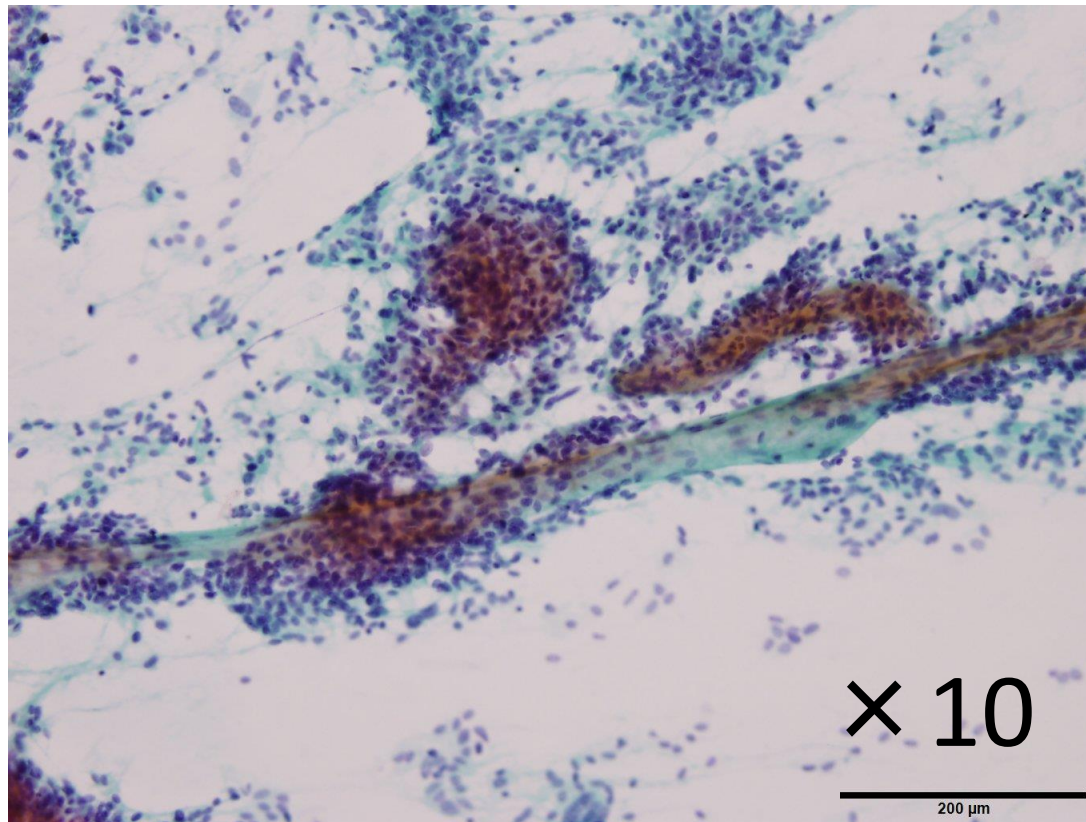


× 10

悪性黒色腫

VS

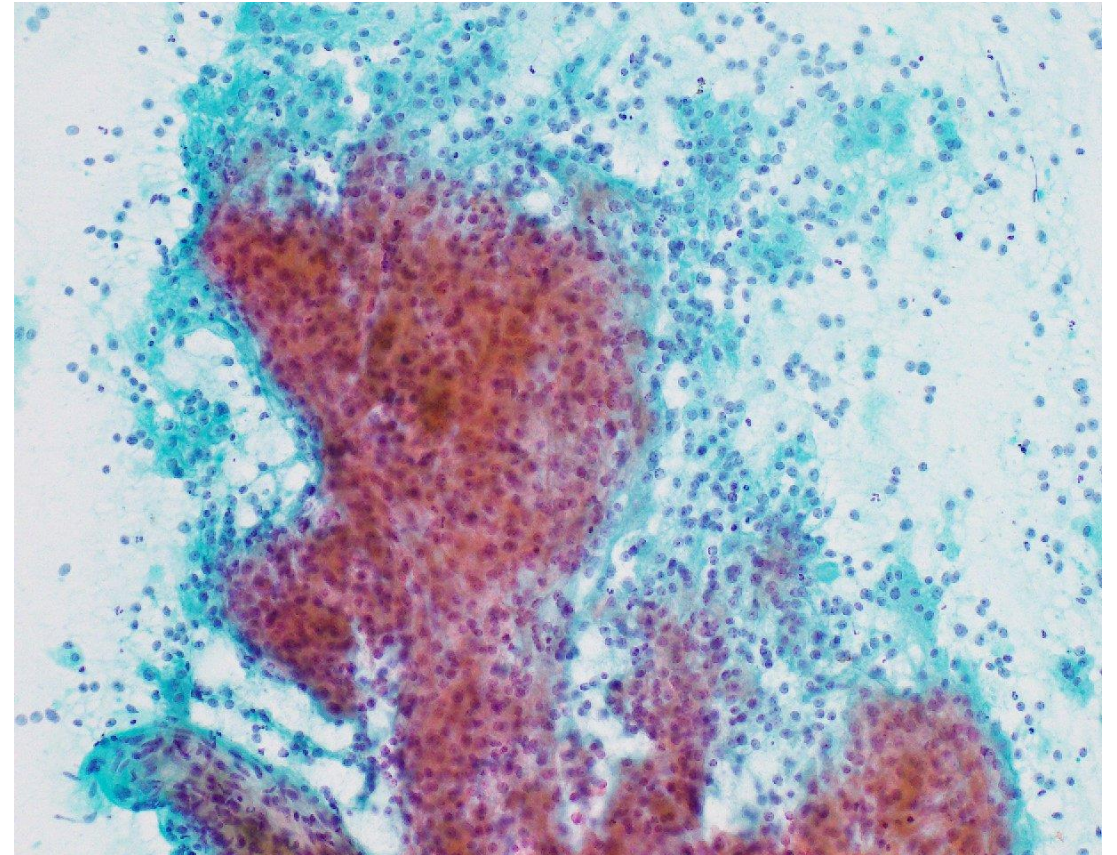
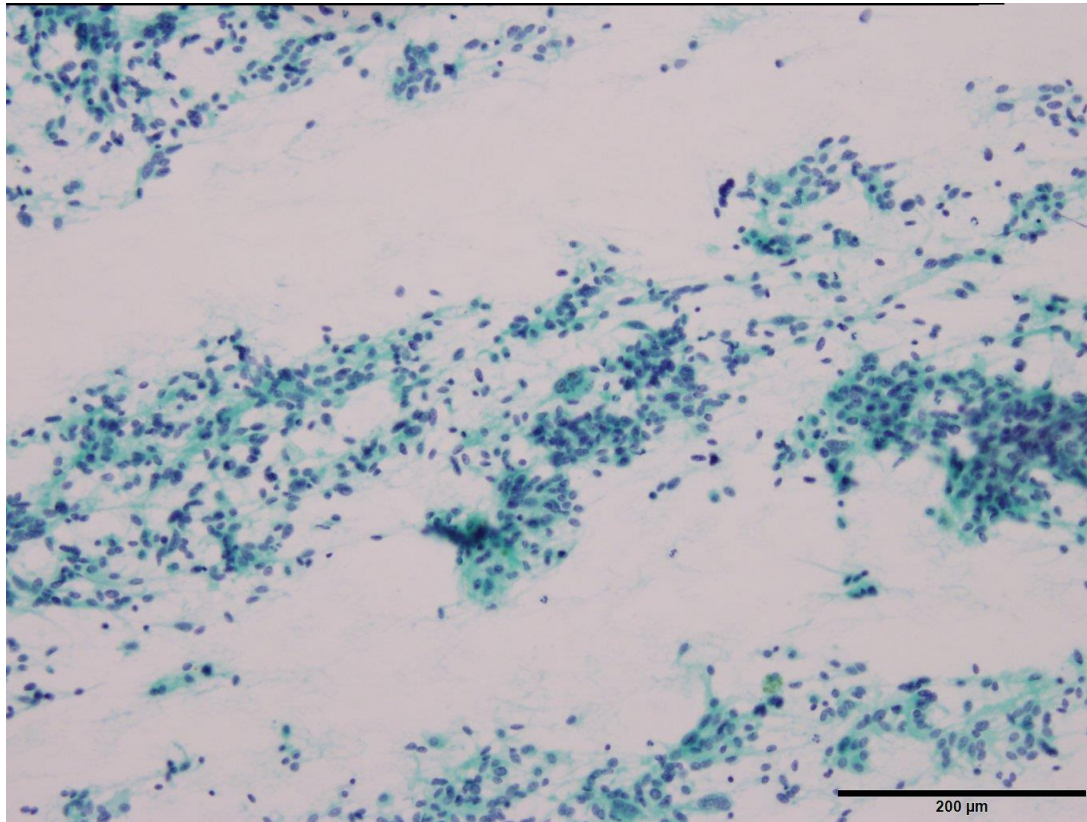
類内膜癌



悪性黒色腫

VS

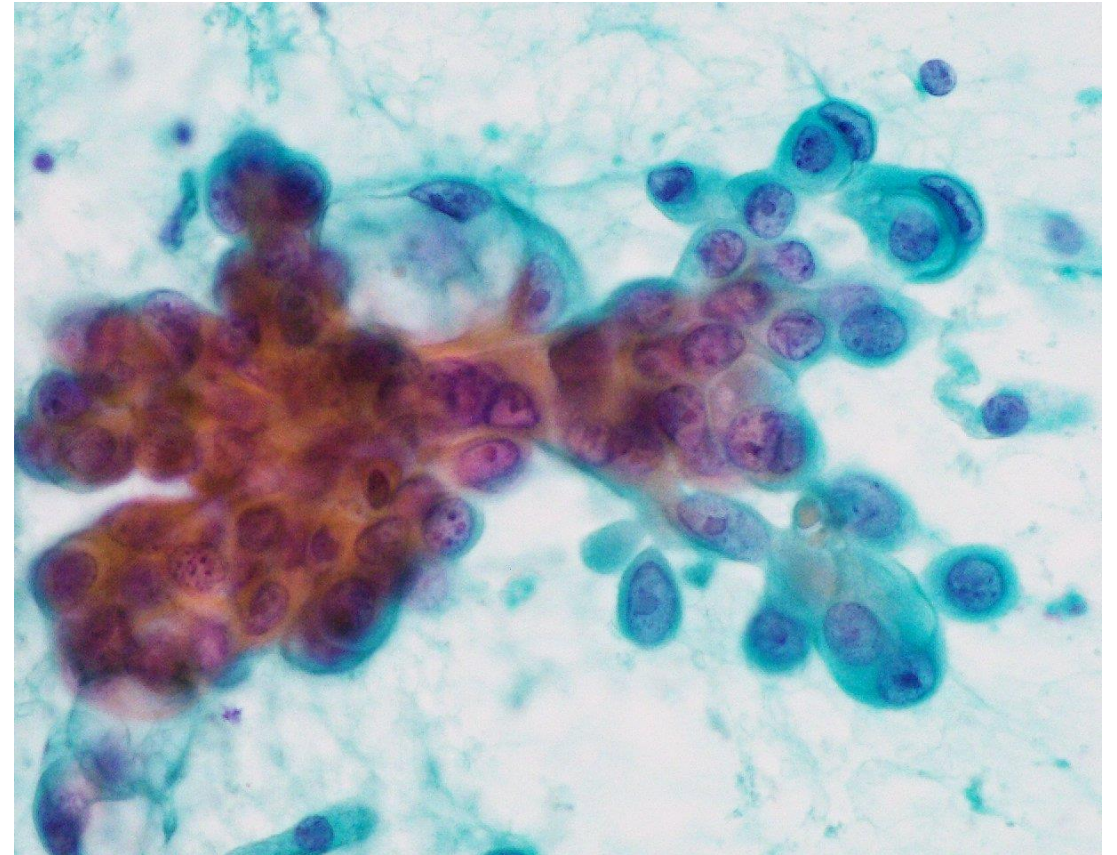
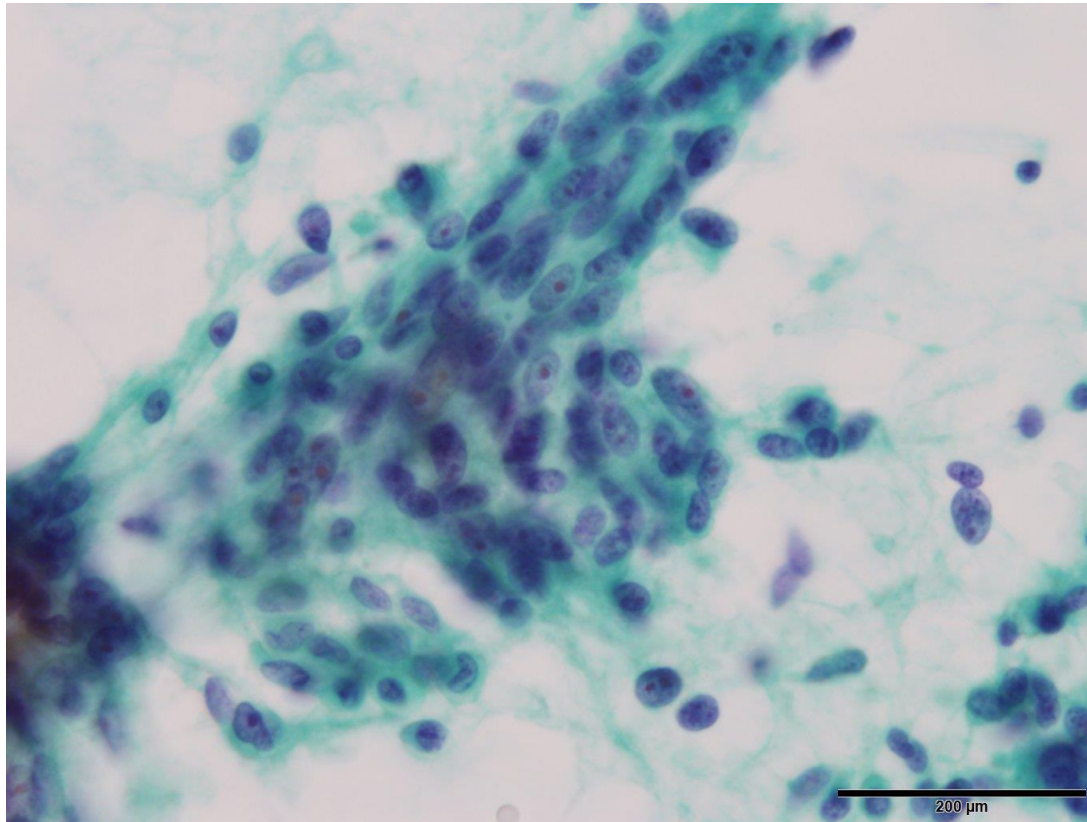
類内膜癌



悪性黒色腫

VS

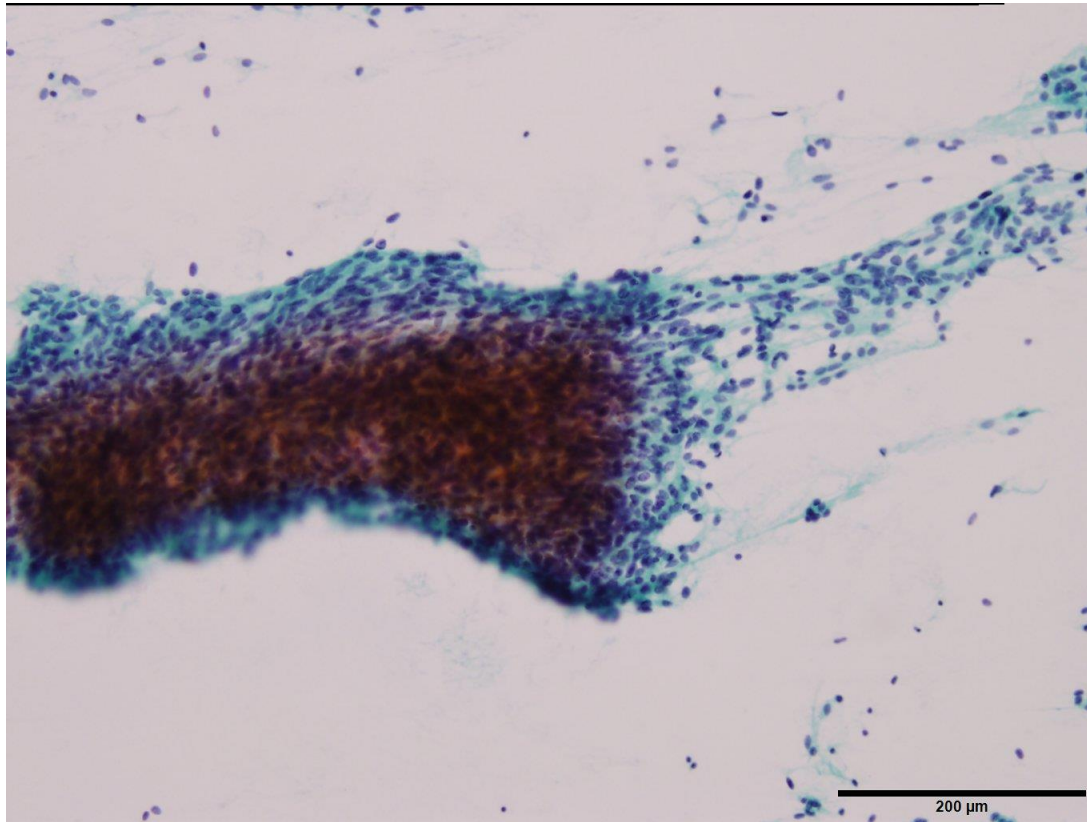
類内膜癌



恶性黑色腫

VS

扁平上皮癌

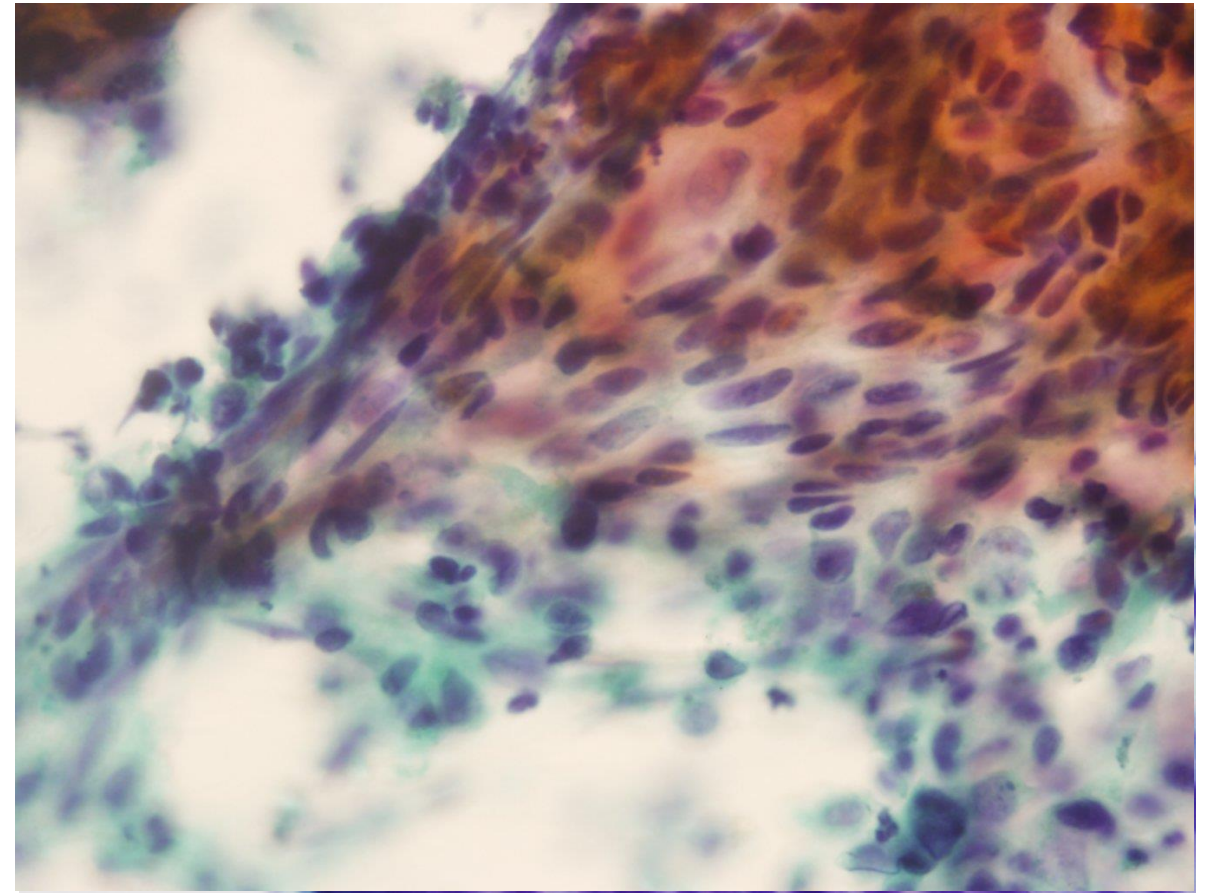
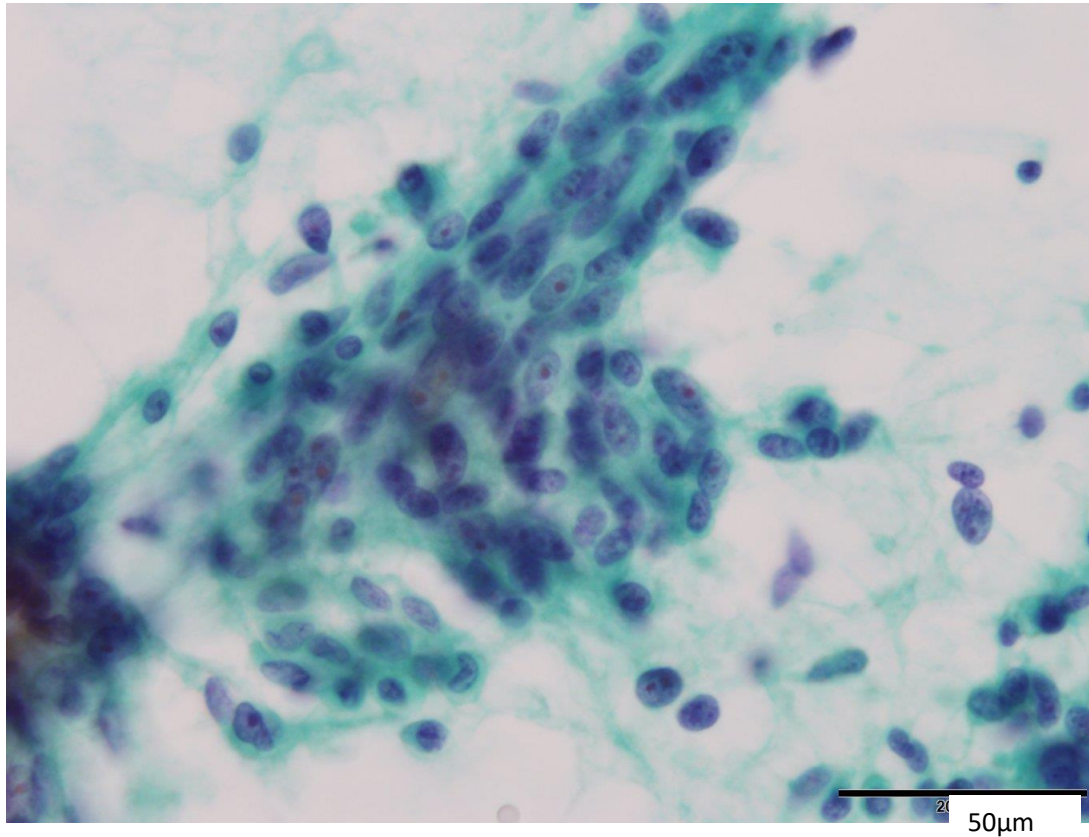


× 10

恶性黑色腫

VS

扁平上皮癌

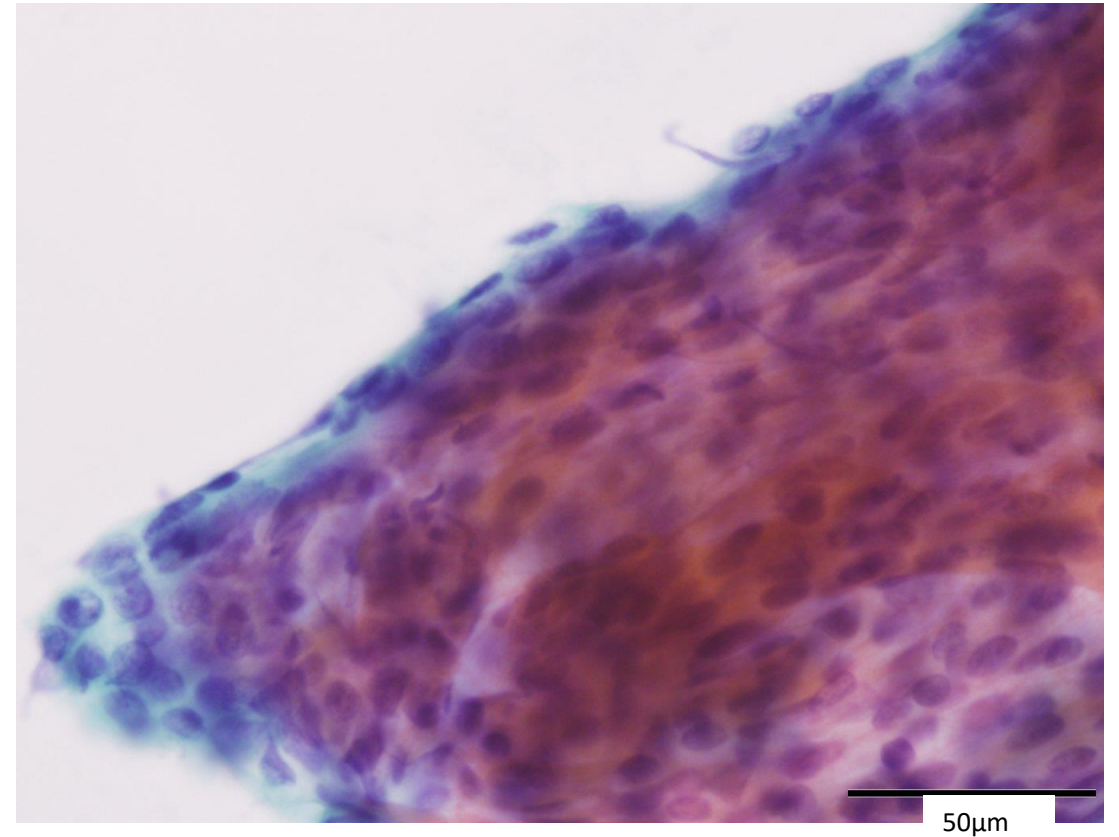
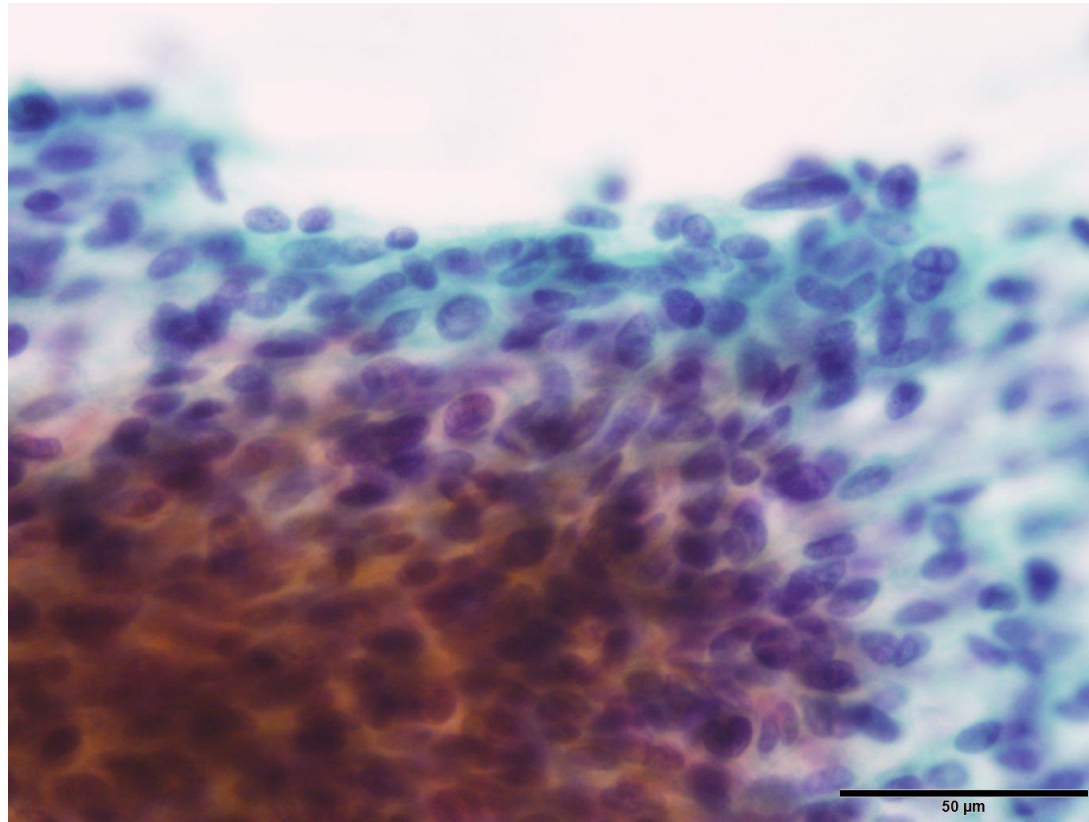


× 40

惡性黑色腫

VS

扁平上皮癌

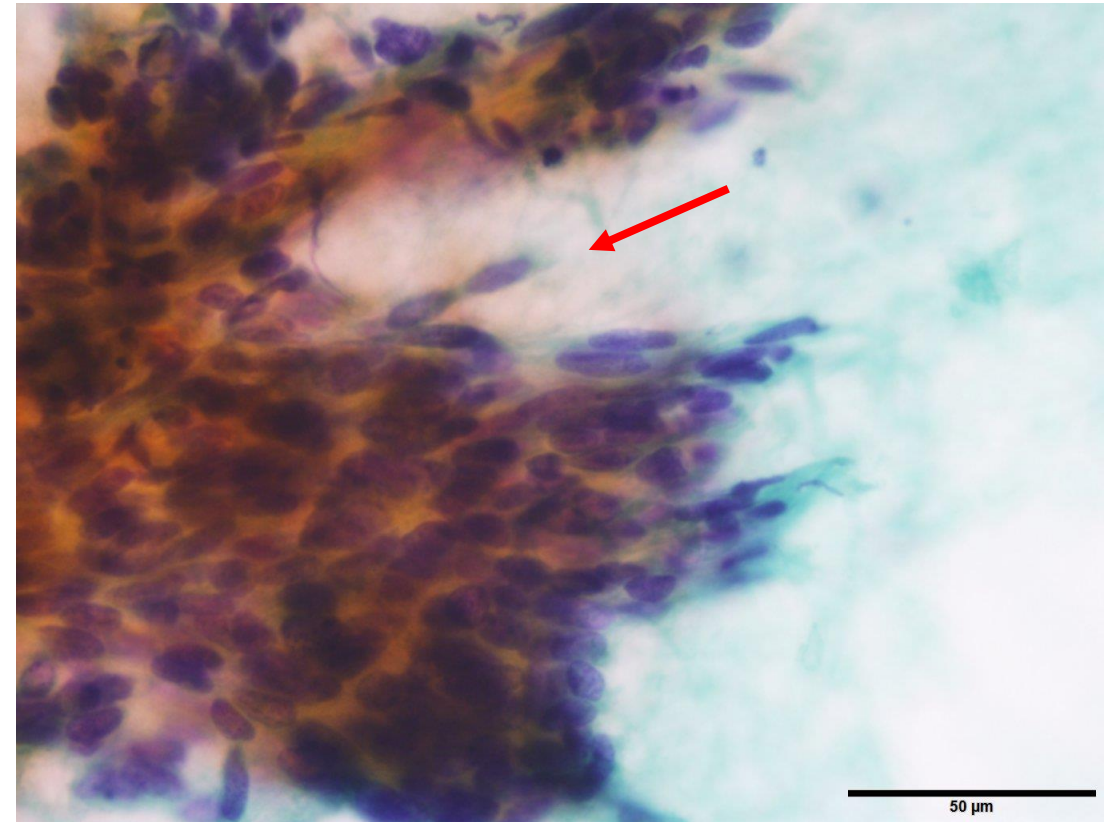
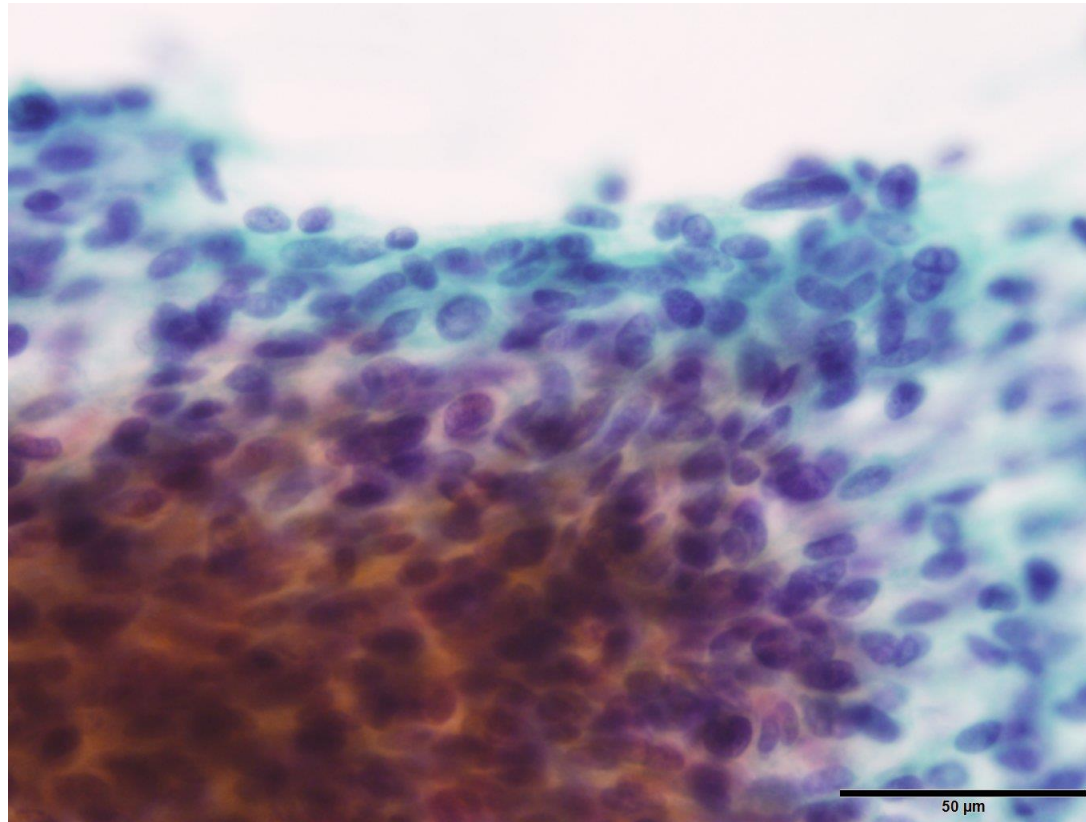


× 40

恶性黑色腫

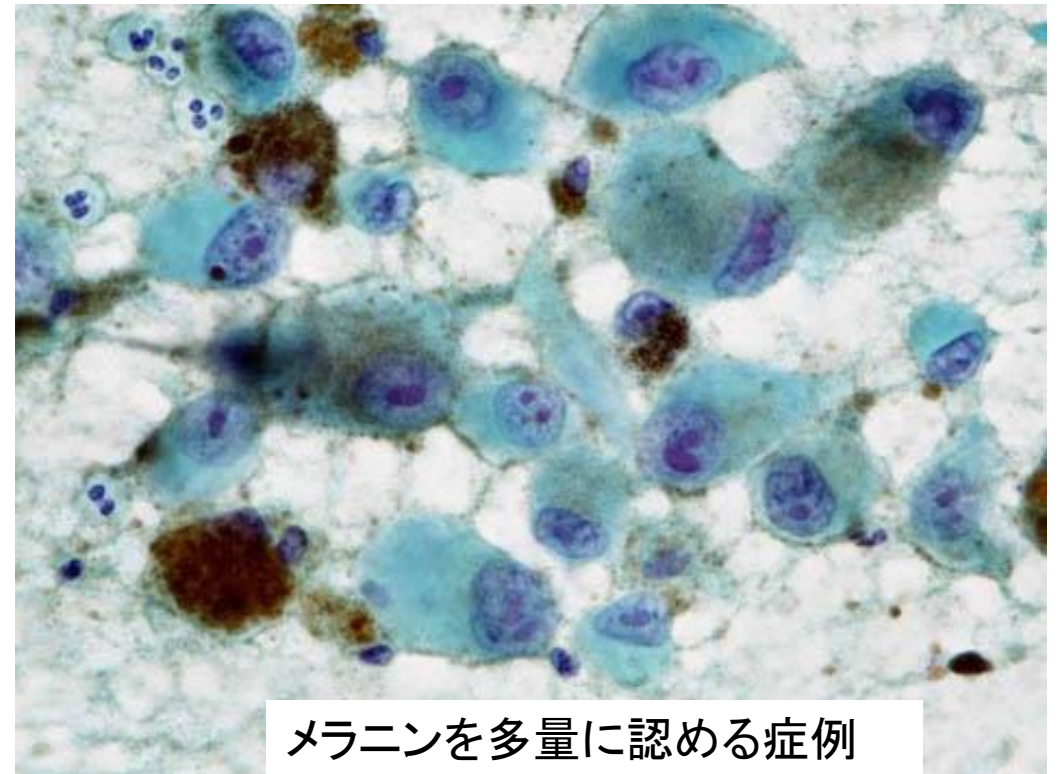
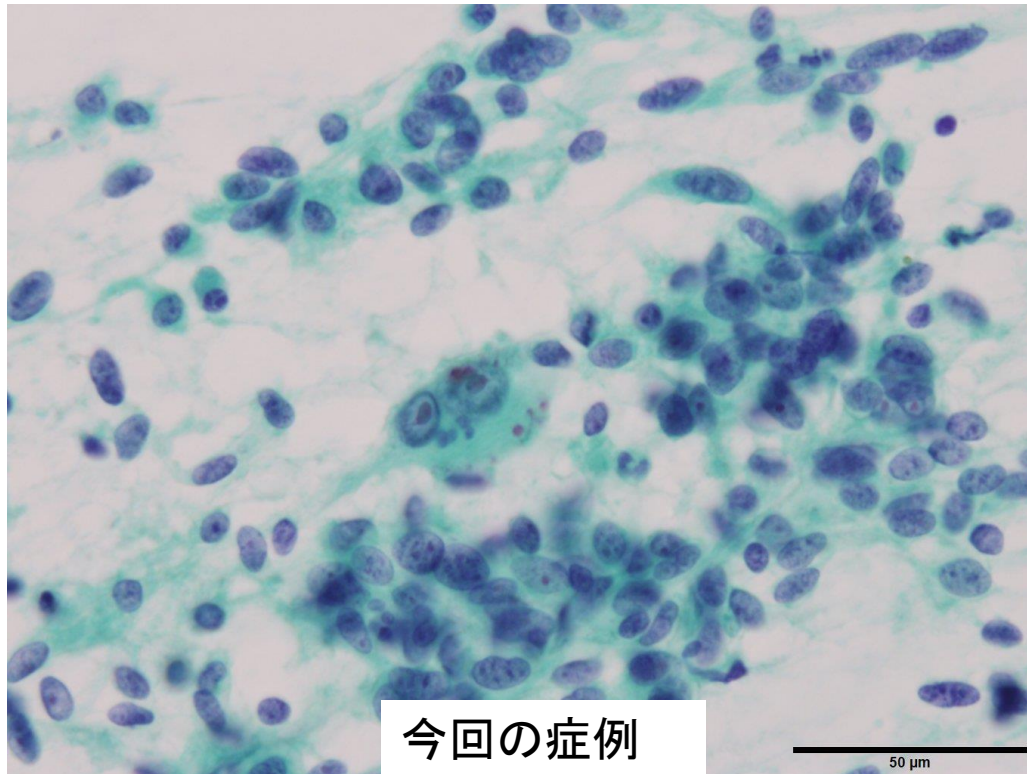
VS

扁平上皮癌



× 40

メラニン顆粒が少ない症例で悪性黒色腫を鑑別にあげることは困難だが、メラニン顆粒がほとんど認めない症例もあるということを念頭に置いておくべきだった。



また、写真の様にメラニン顆粒が少なく、類円形の細胞が多く出現する症例もあるので、注意が必要である。

典型的な砂をばらまいたような症例ばかりではないということを痛感した症例であった。

